

令和2年度 第4回 第12地区教科書採択教育委員会協議会

- 1 日時 令和2年7月22日(水) 午前10時00分から午後4時17分
- 2 場所 めむろ駅前プラザめむろーど
- 3 出席委員
会長 程野 仁 (芽室町)
副会長 菅野 勇次 (幕別町)
監事 福地 隆 (音更町)
加賀 学 (池田町)
委員 堀江 博文 (土幌町) 小堀 雄二 (上土幌町) 大井 和行 (鹿追町)
武田 芳秋 (新得町) 三澤 吏佐子 (清水町) 高橋 雅人 (中札内村)
荻原 正 (更別村) 菅原 康博 (広尾町) 山本 芳博 (豊頃町)
水野 豊昭 (浦幌町) 佐々木 基裕 (本別町) 藤代 和昭 (足寄町)
有田 勝彦 (陸別町)
- 4 欠席委員 板谷 裕康 (大樹町)
- 5 代理出席 なし
- 6 出席した調査委員
第1小委員会 (国語/書写) 委員長 豊田利一 副委員長 安齋 亮太
第2小委員会 (社会/地理・歴史・公民・地図)
委員長 寺島 康博 副委員長 和田 秀治
副委員長 加藤 伸啓 副委員長 西田 茂生
副委員長 石森 裕章
第3小委員会 (数学) 委員長 野村 勉 副委員長 阿部 昌己
第4小委員会 (理科) 委員長 松橋 達美 副委員長 二宮 司
第5小委員会 (音楽) 委員長 久保 睦則 副委員長 石丸 揚一朗
第6小委員会 (美術) 委員長 服部 和樹 副委員長 嵐田 美智子
第7小委員会 (保健体育) 委員長 橋本 靖宏 副委員長 廣瀬 悦久
第8小委員会 (技術家庭) 委員長 長江 教貴 副委員長 戸川 結
第9小委員会 (外国語) 委員長 山本 尚 副委員長 小野 稔之
第10小委員会 (道徳) 委員長 椿原 雅章 副委員長 野島 真理子
副委員長 村尾 秀人
第11小委員会 (附則第9条) 委員長 佐々木 典郎 副委員長 眞壁 夢子
- 7 出席した事務局職員 (芽室町教育委員会)
学校教育係長 橋本 岳 学校教育係 主事 斎藤 洋平
- 8 オブザーバー (十勝教育局)
教育支援課長 吉村 公孝 義務教育指導班主査 山田 圭介
- 9 傍聴者 なし
- 10 協議

(程野会長)

ただ今から、令和2年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会を開催いたします。
議事に入ります前に、事務局から事務報告をいたします。

(事務局：橋本学校教育係長)

本日の会議につきましては、大樹町の板谷委員から欠席と代理の方も出席できないとの申し出がありました。そのほかの委員につきましては、ご出席いただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、本日は、令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び学校教育法附則9条に規定する教科用図書の調査委員会における調査研究結果について報告をいただくため、調査委員会の正副委員長にもご出席をいただくことになっております。さらに十勝教育局からは、吉村教育支援課長、義務教育指導班の山田主査にご出席をいただいております。

会議に入ります前に、本日配付した資料につきまして、確認させていただきます。表紙を1枚めくっていただいた下段に、配付資料を掲載しております。議案書、本日の協議会の日程表、「令和3年度から使用する中学校用教科用図書報告書」のファイルが1冊、各町村の教科書展示会の意見を記載した資料1の計4点でございます。以上です。

(程野会長)

本日は、各調査委員会から調査研究結果の報告をいただいた後に質疑を行うこととしておりますが、採択の公正確保の観点から、規約第9条第6項の規定に基づき、非公開といたします。これにご異議ございませんか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、本日の会議は非公開といたします。

それでは、「報告第3号 令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び学校教育法附則9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告について」、調査委員会における調査研究の経過を事務局から説明いたします。

(事務局：橋本学校教育係長)

報告第3号 令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び学校教育法附則9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告について、各調査委員会における調査研究の経過をご報告いたします。

第1回調査委員会は、6月29日午後2時から、芽室町中央公民館で開催し、発行者から送付された全ての見本本を配付した後、調査研究の観点や手順などについて、説明を行いました。調査委員会では、教科書編修趣意書や北海道教育委員会が作成した採択参考資料を活用し、絞り込みや順位付けをせず、全ての見本本について調査研究を行いました。調査委員には、この日以降約2週間、調査研究の観点に基づき、自宅において調査研究を行っていた

できました。

第2回調査委員会は、7月9日午前10時から、第1～10委員会は芽室町中央公民館で、第11小委員会は帯広養護学校において開催し、終日調査研究を行いました。調査委員は、学習指導要領に基づき、教科書見本の特色が明らかになるよう、取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等の観点に基づき、調査研究の結果を積極的に意見交換するとともに、特に話し合われた箇所や特徴的な箇所は、見本本で具体的に示していただきました。その際、1つの見本本を複数の調査委員で担当いただきました。十分に話し合いが尽くされた後、全ての見本本について、調査研究や協議の結果を踏まえ、報告書の作成に着手いただいております。第2回の調査委員会以降も、調査委員は協議した観点や内容などについて、見本本の調査研究を継続いただいております。

第3回調査委員会は、7月16日午前10時から、芽室町中央公民館において、終日開催し、全ての見本本について、調査研究の結果を基に、報告書の作成作業を行い、本日の協議会における報告原稿の作成と報告内容箇所を確認する話し合いなどを行っていただいたところであります。以上で説明を終わります。

(程野会長)

本日の協議会の進め方について、お諮りいたします。

本日は、別紙の「令和2年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会日程表」に基づき、調査委員会ごとに調査研究結果の報告と、質疑応答を行うこととし、次回の第5回協議会において教科書の種目毎に2者に絞り込むための審議を行うこととしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(委員一同)

異議なし。

(程野会長)

異議なしと認め、本日は調査委員会委員長の報告の後、質疑を行い、次回協議会において教科書の種目毎に2者に絞り込むための審議を行うことに決定いたしました。

それでは最初に、第1小委員会の国語、書写について、ご報告をいただきます。まず、自己紹介をお願いいたします。

(豊田第1小委員会委員長)

おはようございます。第1小委員会の委員長を務めさせていただきました豊田でございます。よろしくお願いたします。

(安齋第1小委員会副委員長)

おはようございます。第1小委員会、副委員長を務めさせていただきました安齋でございます。よろしくお願いいたします。

(程野会長)

よろしくお願いいたします。どうぞお掛けください。それでは、第1小委員会、国語、書写の調査結果について、種目別に合わせて25分程度で報告をお願いいたします。

(豊田委員長)

それでは、報告をさせていただきます。第1小委員会では、令和3年度より使用する中学校用の国語と書写の教科書見本本の調査研究を行いました。報告書1の調査研究の経過は、3回調査研究を行いました。2の調査研究の方法は、発行者から送付された国語・書写ともに4者の全てを、取扱内容と内容の構成、排列、分量、そして使用上の配慮事項の観点に基づき、教科書編集趣意書及び北海道教育委員会が作成した採択参考資料を参考に行いました。

それでは、3の見本本の総合所見の報告をいたします。まず、国語から行います。報告書の2ページ目をご覧ください。まず、新学習指導要領においては、国語の目標として、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するとあります。またそのためには、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが必要であり、その授業改善の視点として「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する学習が重要とされています。このことから、まず初めに「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する学習がどのように各発行者によって学習活動として取り上げられているかを4者とも3年生の教科書を使って報告いたします。まず東京書籍です。東京書籍では「てびき」において、学習活動を設定し、見通しをもたせるとともに、P52の「評価しながら聞こう」では生徒同士が助言しあったり、議論を通して考えを深めたり、お互いの考えを出して結論をまとめたりする言語活動を数多く設定しています。次に三省堂です。

「学びの道しるべ」を設け、学習のプロセスや思考の方向を示すとともに、P88の「フロン規制の物語」などの読むこと教材に「読み方を学ぼう」を設け、何をどのように読めば力がつくかという読みの方略を図解で示す工夫がなされています。次に教育出版です。「学びナビ」において、学習課題を設定し見通しを持たせるとともに、P180の「故郷」では作品の表現の仕方を評価する活動で学びを進める7つのキーワードの中から、自己・他者・物語を取り上げ、多様な話題を通して言葉の力を高める工夫がされています。次に光村図書出版です。「学習（手びき）」において5つの学習過程を明確にし、見通しをもたせるとともに、P178の「エルサルバルドルの少女 ヘスース」では読書単元から問題意識を持ち社会に視野を広げ、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立していく工夫がされています。続いて各発行者の特徴的な学習活動内容を紹介します。まず、東京書籍です。「学びのとびら」を掲載

し日常生活のなかでの言語能力に係わる疑問を提示し、「言葉の力」にそれぞれの教材で身に付けた学びのポイントを掲載するなど、主体的に学習に取り組めるなど工夫がなされています。次に三省堂です。巻頭の領域別教材一覧に、「つきたい力」を提示し生徒に見通しを持たせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設けるなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。次に教育出版です。巻頭に「言葉の地図」を掲載し、教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や、自ら学習を振り返る観点を示したり、「ここが大事」に学習で確実に身に付けたい重点的な内容を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。最後に光村図書です。巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり、「学習の窓」に学習を通して身に付けられる汎用的な資質・能力を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされています。以上が国語の報告になります。

続けて、書写の報告をさせていただきます。報告書のP2をご覧ください。書写の新学習指導要領における具体的な授業改善の視点になります、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習が、どのように各発行者においてどのように学習活動として取り上げられているかを、4者とも1年生の教材を使ってご報告したいと思います。

東京書籍では、P14の「点画の書き方と字形の整え方」のように、学習課題の見通しを持たせる「書写のかぎ」を核に、何を学ぶか、どのように学ぶかを明確化すると共に、自分が書いた文字を使って学習したことを説明する活動を取り入れられています。次に三省堂では、P14の「字形の整え方と筆遣い」のように、「書き方を学ぼう」でポイントを明確化し、習得すべき書き方のコツを捉えるとともに、毛筆で学んだことを硬筆に生かす活動で、社会で生きる書写の力を身に付ける工夫がなされています。教育出版では、P16の「筆使いと字形 天地」のように、学習課題に見通しを持たせる「考えよう」を使って漢字の筆使いや漢字を構成する点画の種類を話し合うことで、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に学んでいける活動が取り入れられています。最後に光村図書では、P40の「漢字の筆使い」のように、学習課題を設定した「学習の窓」や「学習の進め方」で点画の種類とその筆使いについて主体的に学習に取り組んだり、硬筆練習帳「書写ブック」で文字の書き方を練習したりする活動が取り入れられています。

次に、各発行者の特徴的な学習活動を紹介します。東京書籍では、自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、巻末に教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。次に三省堂では、学習したことを実際に活用できているかを確認できる「自分の言葉でまとめよう」や、巻末に日常生活や社会生活で使われる書式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。教育出版では、習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できるよう基本的な書式をまとめた「書式の教室」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。最後に光村図書では、学習し

たことを確かめることができる「書写テストに挑戦しよう」や、巻末に日常生活に生かす書式を整理して示した「日常に役立つ書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。報告は以上です。

(程野会長)

国語・書写についての報告をいただきました。これから質疑を行います。質疑は、国語と書写に分けて行います。まず、国語について行います。質疑はございますか。

小堀委員。

(小堀委員)

国語科における育成すべき資質・能力のひとつとして、情報の扱い方に関する、知識・技能が大切な要素であると思うが、各教科書でどのように配慮されているか伺います。

(豊田委員長)

情報の扱いに関する部分については、知識・技能の中で今回特に重要だと言われています。各者の3年生の教科書で説明していきたいと思います。東京書籍では、インターネットで調べることを通して、情報の客観性や信頼性を吟味する活動が、P75の「編集して伝えよう」に、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの学習の中で繰り返し扱うこととともに、「言葉の教材」や「学びの扉」「学びを支える言葉の力」など、取り立てて学習する教材も設けています。次に三省堂では、メディア・リテラシーに関する資料を読み、情報の信頼性の確かめ方を理解する活動が「情報社会を生きる」で取り入れられています。また、全体的には言葉による見方、考え方を働かせ、情報と情報の関係を捉えたり、考えを整理し深めたりする方法を「思考の方法」として示しています。教育出版では、複数の新聞を比較しながら構成する情報を整理し効果について理解する活動が、P64に「新聞が伝える情報を考える」で取り上げられています。また、各読みの教材で学習に関する語意や表現をまとめ、教材の中で多様な情報のつながりを把握し、思考と語意の連携による情報を適切に扱う能力を育成する工夫がなされています。最後に光村図書では、実用的文章の読解や新聞の読み比べから情報の信頼性を確かめる活動が、P62に「実用的な文章を読もう」で取り上げられています。また、「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」では、情報を可視化し、よくある困った場面を出発点に、情報の信頼性を確かめたり、具体と抽象など情報と情報の関係を示したりすることの価値をわかりやすく解説しています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

荻野委員。

(荻原委員)

国語科においては、生徒自身が目的や意図に応じて題材を決め、情報を収集・整理し伝えたいことを明確にして、多様な読み手を説得できるようにする文章を書く力の育成が重要であると考えますが、これをどのように配慮されているか伺います。

(豊田委員長)

文章を書く力については、思考力、判断力、表現力の中の、書く力ということで、各教科書が捉えています。3年生の教科書で説明します。東京書籍では、論の進め方を考え、説得力のある批評文を書く活動がP107に「観察・分析して論じよう」に入っています。このような知的好奇心に訴える教材、明確な構成の説明文で論理的な考え方や書き方を学び、比較・分析した上で説得力のある批評文を書くなどの工夫がなされています。次に三省堂では、文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動が、P40の「批判的に読むとは」に取り上げられています。社会生活の中から課題を取り出し、取材や調査を重ねながら批評文を書くことなど、学習指導要領の狙いに沿った活動が取り上げられています。教育出版では、具体例から説得文を書く活動や読み手の助言を踏まえて自己PR文を書く活動について、P197の「自己PR文を書く」で物事を客観的に見直し、正しいかどうかを検証する活動を取り上げられています。これも学習指導要領の狙いに沿った学習として取り上げられています。最後に光村図書では、客観的に対象を分析し説得力のある批評文を書く活動が、P130の「多角的に分析して書こう」で取り上げられています。情報活用力を生むために、統計資料等の資料を引用して、各教材や情報を整理・分析して評論文を書くという教材、或いは図表・情報を読み解き、関連付けて書く活動等が取り上げられています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

三澤委員。

(三澤委員)

国語科では、生徒たちが話し合いを効果的に進めて、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたり、深める力の育成が求められています。このことについて、どのように各教科書が工夫をしているのか伺います。

(豊田委員長)

子どもたちが考えをまとめ、広げ、深めるということについて、どのようにされているか3年生の教科書で説明していきたいと思います。東京書籍では、場の状況に応じて表現を工夫したり、話し合っ合意を形成したりする活動が、P114の「相手や目的に応じて伝える」にあります。生徒同士が助言しあったり、議論を通して考えを深め、お互いの考えを生かし

て結論をまとめたりする言語活動として取り上げられています。次に三省堂では、社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動が、P102に「状況に応じて話す力を養う」の中で取り上げられています。対話、交流、共有によって学習をすすめていくことを大切にして、相手や目的などの条件を意識して的確に表現する力を育成するように工夫されています。教育出版では、社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動や意見を共有して話し合う活動が、P235の「多角的に捉える」の中で取り上げられています。対話、交流を通してコミュニケーション能力を高め、相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深めていく活動です。光村図書では、よりよい社会の実現を目指して自分の意見を発信し合意形成に向けて話し合う活動が、P136「合意形成に向けて話し合おう」で取り上げられています。生徒たちのやってみたいを大切に、多様なテーマで言語活動を発達段階に考慮して配列する工夫がなされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

加賀監事。

(加賀監事)

生徒が文章の構成などに基づいて、文章の内容や形式を精査・解釈しながら読み、自分の考えを形成する力の育成が求められているが、このことについて、どのような配慮されているか説明をお願いします。

(豊田委員長)

生徒が文章内容等を解釈しながら自分の考えを形成する力について、各者ごとに3年生の教科書で説明していきたいと思います。東京書籍では、作品を批評したり、文章に表れている考えを捉えたり、吟味する活動が、P96「幸福について」の中で、登場人物の思いや意識に触れながら、想像力、共感する心を育む作品を選びすぐって掲載するなど工夫がなされています。三省堂では、文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにするという活動がP40「批判的に読むとは」の中で取り入れられています。また、「読み方を学ぼう」では何をどのように読めば力がつくか、読みの攻略を図解で示すなど工夫がなされています。教育出版では、作品の表現を評価する活動や表現の効果を話し合う活動が、P32「私」の教材の中で取り上げられています。何が書かれているかだけでなく、どのように書かれているかにも着目して読めるような読み方を提示し、自ら読む力を養う工夫がなされています。最後に光村図書では、文章の比較を基にグループで討論する活動が、P124「人工知能との未来」などで、比較して読むことができる教材として複数用意され、複数の視点で対象を吟味したり評価したりする力、あるいは、情報の信頼性を確かめる方法を身に付けるような工夫がなされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

藤代委員。

(藤代委員)

故郷を知り、愛する心を育むことは、教育の大切なところですが、北海道とのかかわりのある内容について、どのように取り上げられているか伺います。

(豊田委員長)

北海道とのかかわりについて、各教科書とも1年生から3年生の中で取り上げられています。東京書籍では、全学年で9教材取り扱っています。例えば、2年生P181「本で世界を広げよう 日本文化」の中で、『カムイ・ユーカラ』自然を敬うアイヌの人々に伝わる神々の物語が掲載されています。三省堂では、全学年で12教材取り扱っています。3年生P122の「奥の細道」本文、注釈や地図で北海道とのかかわりのある内容が取り入れられています。教育出版では、全学年で11教材取り扱っています。読む教材の中で、3年生P262「青春の歌―無名性の光」で北海道生まれの作家を取り上げるような教材として扱っています。光村図書では、全学年で16教材取り扱っています。3年生P187「本は世界への扉」の中で北海道出身の筆者や、アイヌ民族、北海道が舞台の作品など、様々な分野で取り上げられています。

(程野会長)

その他質疑はございますか。

なければ、次に書写について質疑を行います。質疑はございませんか。

水野委員。

(水野委員)

書写においては、生徒が目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く力の育成が求められていますが、このことについて、どのように取り上げられているのでしょうか。

(豊田委員長)

目的、必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く力ですが、これについても教科書ごとに説明いたします。東京書籍では、1年生の教材のなかで、小学校で学習した楷書の知識をまず確かめ、その後に毛筆による穂先の向きや筆の動きなどを意識した点画の書き方などで、両方の書き方が比較できる配列となっています。三省堂では、P64「楷書と行書の使い分け」で、目的や必要に応じて書体を選択して書くための取り組みが設定されています。教育出版では、P78から、用紙や書体を工夫して案内状を書いたり「さまざまな書く場面」に応じた

楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くという内容が取り上げられています。光村図書では、P86 から、場面に応じて楷書と行書を選択して書く教材が設定されています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

武田委員。

(武田委員)

書写で習得する知識、技能として、硬筆学習と毛筆学習の関連について、どのように工夫されているか伺います。

(豊田委員長)

硬筆、毛筆の学習の関連について、教科書ごとにどのような活動が取り上げられているか説明します。東京書籍では、P30 から穂先の向きを意識した点画の書き方や行書を書くための筆の動きなど、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けつけるような活動が取り上げられています。三省堂では、P20「毛筆で学んだことを硬筆に生かそう」で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける取り組みが設定されています。教育出版では、P18に「毛筆で学習した内容を生かそう」の項目で、硬筆でも書く活動によって確認することができるようになっています。光村図書では、P52 で筆圧や点画のつながりを意識した筆使い、滑らかに動かすなど、毛筆で学んだことを硬筆に生かし、硬筆の基礎を身に付けられるように工夫されています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

高橋委員。

(高橋委員)

書写では、生徒が身の回りの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れて効果的に文字を書くことが大切であると考えています。文字の成り立ちや歴史的背景などといった文字そのものの文化と、文字の役割や意義、書き方の関係などといった文字を書くことの文化の両面について、どのように配慮されているか教えてください。

(豊田委員長)

4者ごとに説明いたします。東京書籍では、P19 に江戸時代の教育機関である「寺子屋」の写真を掲載し、その中に描かれた「いろは歌」で当時の文字文化を伝えること、また、

P28. P29 で文字の成り立ちと移り変わりについて、写真を用いて掲載することでわかりやすく説明しています。三省堂では、P72 の「身のまわりの文字」で文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの必要性について考えるための取り組みが設定されています。教育出版では、P94 から身の回りの多様な表現による文字を見つける活動の後に、見つけた文字の効果についてレポートにまとめる活動を取り上げ、系統的・発展的に学習できるような工夫がされています。光村図書では、P94 でこれまで学習したことを生かして自分の好きな言葉を書いたり、身の回りにある書体の効果を考えたりする活動を通して効果的に文字を書くという取り組みが設定されています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

なければ、これをもちまして第1小委員会、国語・書写についての報告を終了いたします。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。

それでは、次に、第2小委員会の社会/地理・歴史・公民・地図について、報告をいただきます。まず自己紹介をお願いいたします。

(寺島第2小委員会委員長)

おはようございます。第2小委員会の委員長を務めさせていただきました本別中学校の校長の寺島です。よろしくお願いいたします。

(和田第2小委員会副委員長)

副委員長を仰せつかりました、更別中央中学校、教頭の和田です。よろしくお願いいたします。

(西田2小委員会副委員長)

中札内村教育委員会、更別村指導主事の西田茂生です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(加藤2小委員会副委員長)

芽室町立芽室中学校、主幹教諭の加藤伸啓と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(石森2小委員会副委員長)

音更町立共栄中学校、教頭の石森と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第2小委員会の社会/地理・歴史・公民・地図について、報告をいただきます。よろしく申し上げます。

(寺島委員長)

それでは、全体を通しまして、私のほうからご説明を申し上げたいと思います。社会科に関しては、地理、歴史、公民、地図と4つに亘っております。教科書は、地理は東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版の4者。歴史は東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・山川・育鵬社・学び舎の7者。育鵬社・学び舎の教科書はありませんでしたので、趣意書を基に作成いたしましたので、ご了承いただきたいと思います。公民は東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・自由社・育鵬社の6者。こちらも育鵬社の教科書はありませんでしたので、趣意書を基に作成いたしました。地図は東京書籍・帝国書院の2者。各教科書の特徴ですが、新学習指導要領の改訂への対応ということで、主体的、対話的で深い学びの実現に関しては、生徒の興味、問題意識を持つことができるように、身近な社会的事象を取り上げるという形になっております。教科書会社によって多い少ないはありますが、北海道における特色、自然、産業、北方領土に関する内容、アイヌ民族の文化・歴史、道内の市町村の議会等を含めて取り上げています。それから、学習課題を設定し、見通しを持たせる形を各者ともとっています。興味、関心を広げるということで、キャラクターを使って、生徒たちになじみ深く、わかりやすく、どの教科書も書いてあります。カリキュラムマネジメントについては、これからの時代に求められる資質、能力を身に付けるために、各教科書とも分量に差はありますが、小中の系統性、3分野(地理・歴史・公民)の関連、地図帳との連携、他教科の関連を図った構成、ということで取り上げられています。それでは、分野ごとに分かれていますので、それぞれ副委員長からご説明申し上げたいと思います。よろしくお願いいたします。

(和田副委員長)

それでは、地理からご説明させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。どの教科書もそうですが、大きく7つに分類されております。「地域構成」「世界各地の人々の生活と環境」「世界の諸地域」「地域調査の手法」「日本の地域的特色と地域区分」「日本の諸地域」「地域の在り方」の7つに区分されています。東京書籍では、P141「地域調査の手法」で、地域例として高知県高知市を取り上げています。また、P270「地域の在り方」では、宮崎市における少子高齢化を具体例として調査活動の例として挙げております。また、主体的・対話的で深い学びにつきましては、冒頭より「日本の位置」において学習課題を設定、見通しを持たせる、そして参加型学習である「みんなでチャレンジ」というコラム・活動を設け、考えを広めたり深めたりする活動に取り組む場面があります。教育出版では、P133「地域調査の手法」では、地域の例として愛知県名古屋市を題材としています。つづいて、P278

「地域の在り方」で多摩ニュータウンにおける高齢化問題を取り上げ、それぞれの地域の少子高齢化問題に取り組むように工夫されています。主体的・対話的で深い学びにつきましては、「防災教育」という場面におきまして、主に興味や関心を広げるコラムを設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなどの特徴があります。帝国書院では、P130「地域調査の手法」において、東京都練馬区を取り上げ、自然環境、その他の適切な課題を設けながらすすめる活動があります。P287「地域の在り方」におきまして、近畿の京都府京都市のバスの混雑というテーマに絞り、地域の課題解決の例として出しております。主体的・対話的で深い学びにつきましては、「地域の在り方」を主に社会的な課題の分析や、その他の取り組みを設けております。日本文教出版では、P118「地域調査の手法」では、地域例として京都府京都市伏見区を例に挙げております。つづいて P263「地域のあり方」につきましては、京都市のまちづくりということでテーマを出しております。主体的・対話的な学びにつきましては、教科書の最初にある、「世界の諸地域」という場面から学習課題の設定や見通し、社会的な課題にチャレンジし、アクティビティを通して深い学びにつなげるという活動が提起されております。地理につきましては、以上となります。

(加藤副委員長)

続きまして、歴史について説明いたします。まず、今回の指導要領の改訂ということもあって、主体的・対話的で深い学びについて、比較して述べさせていただきます。まず、単元を貫く学習課題を軸にした課題の解決的な構成と全者となっております。また、1時間の授業で獲得した知識を単元のまとめ、章末のまとめで考えさせる内容となっております。最後に授業のディスカッションができるような仕組みとなっております。それに関わって、近現代をピックアップしました。東京書籍では、歴史的分野の目標が達成できるよう、P179「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。教育出版では、P206「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。山川出版社では、P211「近代の日本と世界」において、明治政府の外交と展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府がどのような近代国家をつくらうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。帝国書院では、P209「近代の日本と世界」において、明治時代の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。日本文教出版では、P219「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、国家建設を急いだ理由を考察したり、単

元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。続きまして育鵬社ですが、教科書見本がございませんでしたので、趣意書を基に述べさせていただきます。「近代の日本と世界」において、明治時代の外交の展開に着目して、国境が定められた経緯を考察したり、単元のまとめでは「この時代のできごとで最も重要と思うものは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。最後に学び舎ですが、教科書見本がございませんでしたので、趣意書を基に述べさせていただきます。「近代の日本と世界」において、議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色を持った時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられております。全体として、主体的・対話的で深い学びの活動について網羅されていると思います。以上です。

(西田副委員長)

続きまして、公民についてご報告いたします。まず、学識経験者の方を含め5人の委員で検討した結論としましては、三点ございます。一点目は、どの教科書も教育基本法の教育の目的や目標、新学習指導要領の趣旨を踏まえた、生徒の発達段階の指導に則した教材を適切に選択しています。二点目が、すべての教師が教科書を用いて授業できるよう、構成が工夫されています。三点目は、教材はもちろんですけれども、イラストや写真等で、生徒が興味、関心を持って学習することができるよう、配慮がなされていました。では、この結論に至るまでにどの観点で調査をしたかご説明します。各者とも、まず、取扱内容については「私たちと現代社会」そして「私たちと国際社会の諸課題」そして「主体的・対話的で深い学びの実現」についてどのように記述されているか、そして内容の構成・排列・分量等では、系統的・発展的に組織されているかについて、使用上の配慮等については、課題解決的な学習について、そして、その他では、北海道とかかわりのある内容や各者の特徴的事項について調査をいたしました。なぜその観点を選んだのかについては、まず、取扱内容ですが、小中学校の接続、一貫性の観点から、小学校と中学校に共通する社会科の目標であるグローバル化する国際社会に主体的に生きる、民主的な国家・社会の形成者に必要な公民としての資質能力の基礎育成する、ということによります。それから内容の構成・排列・分量等と、使用上の配慮等については、現行の学習指導要領の課題として、主体的に社会の形成に参画しようとする態度の育成が不十分であったり、課題を追求したり解決したりする活動を取り入れた授業が十分に行われていないということが指摘されていたため、系統的・発展的に組織されているかについて、使用上の配慮等については、課題解決的な学習についての関連を取り上げました。ちなみに課題解決的な学習についてですが、社会科の目標に課題を迫及したり解決したりする活動を通して、とあるので課題解決的な学習について取り上げました。その他では、ふるさとの北海道について理解を深めるという観点から、北海道と関わりのある内容を深く取り上げられているページ実数を取り上げております。どの発行者も、教育基

本法の平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質の育成という教育の目的や目標、新学習指導要領に準じ、中学校社会科の目標と、公民科の目標を達成するという明確な編集基本方針を基に、主体的・対話的で深い学びの実現の視点をもって、質の高い教材を掲載し創意工夫を凝らした構成とした教科書となっております。さらに、生徒の身近な社会的事象や現代的な課題、最近では18歳以上での選挙権やグローバル化する国際社会、少子高齢化等も取り上げて、公民としての資質・能力の基礎を育むように工夫されていました。では、教科書ごとに説明いたします。特に北海道のことについては、東京書籍では、芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。教育出版では、倶知安町の条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、千歳市の手話で通話できる公衆電話ボックスの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。帝国書院では、旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、夕張国際ファンタスティック映画祭の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。日本文教出版では、旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方議会の役割を考察できるようにしたり、帯広市の馬文化祭りの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。自由社では、2018年9月に発生した北海道地震を取り上げ、北海道の事例から地方自治と防災を考察できるようにしたり、「二風谷アットゥシ」の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。育鵬社では、編集趣意書からピックアップしたことですけれども、SDGs未来都市であるニセコ町や下川町を取り上げ、北海道の事例から持続可能な社会の構築を進める地方自治体を考察できるようにしたり、根室市花咲港のサンマ用の水揚げの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされていました。以上でございます。

(石森副委員長)

地図を担当しています、石森です。よろしく申し上げます。地図は2者の地図を検討いたしました。東京書籍と帝国書院です。検討の内容ですが、社会科の目標が達成できるよう、教育活動が取り上げられているか、二点目が、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応になっているか、この二点において、検討いたしました。東京書籍では、P1～3に大きな「世界全図」が掲載されています。こちらの世界全図において、中心からの距離や方位が正しい地図、あるいは面積が正しい地図を比較し、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動が取り上げられています。さらに、P29・30の「世界州別図」において、世界の州の境目を読み取ったり、あるいはP63に第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動などが取り上げられています。続きましてP69に「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置などを調べたりする活動などが取り上げられています。「世界の資料図」において、

P25・26 に世界のエネルギー資源の分布と貿易、P7 に現代社会の問題として、SDGs の目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動が取り上げられています。つづきまして、裏表紙をめくるとある「日本全図」においては、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動が取り上げられています。続きまして P121・122 「日本地域別詳細図」においては、高速道路網による他地域との結びつきを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動などが取り上げられています。「日本の資料図」において、P153 で日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、P151・152 においては、日本の火山と地震の分布、災害と向き合う方策を考えたりする活動が取り上げられています。つづきまして、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応についてです。P121・122 一般図の中に「注目したい記号」という吹き出しの部分の設け、地図の読図を通して分かることを、地域の特色を踏まえて整理する、また地図帳の中にキャラクターを登場させ、その吹き出しの中に、テーマが書かれており、そのテーマに沿って考察したりする活動を行って、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。続きまして、帝国書院では、まず、学習活動について P1~3 に大きな地図が出てきます。こちらの地図はヨーロッパを中心とした面積が正しい地図、東京からの距離と方位が正しい地図の比較、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動が取り上げられています。「世界州別図」において、P45 にアジア州の境界を読み取ったり、同じく P45、あるいは P47 になりますが、ヨーロッパの位置を、同緯度・同縮尺の北海道と比較して、面積ですとか緯度を比較する活動などが行われています。「世界主要地域詳細図」において、P55・56 にモスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取る、あるいは P59・60 にアメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動が取り上げられています。続きまして P31・32 では、東アジアと日本の交流、さらに P35 では、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動が取り上げられています。また、一番最後のページに我が国の東西南北端、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取る活動が取り上げられています。また P119・120 では、高速道路網による他地域との結びつき、それから地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取る活動が取り上げられています。また P127 では、農業や工業の分布の特色、P123・124 では、東京都周辺の地形から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動があります。最後に、主体的・対話的で深い学びを実現するための対応ですが、一般図に「地図活用」のコーナーを設けて、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に「学習課題」を設けて、学習課題、防災、環境、日本との結びつき等の学習課題が示されています。これに沿って考察をすることで、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。2 者とも、主体的・対話的で深い学びを実現に対応した工夫がなされていると思います。以上です。

(程野会長)

ご報告、ありがとうございました。それでは、地理・歴史・公民・地図ごとに、質疑を行っていきたいと思います。まず、地理について質疑はございますか。

堀江委員。

(堀江委員)

自然災害や防災、減災、環境保全の観点から、日本の様々な地域における特色や課題、取組といったものを理解する上で、どのように配慮されているかお聞きします。

(和田副委員長)

ご説明いたします。それぞれに「日本の地域的特色と地域区分」という箇所が各教科書に取り入れられております。その中において、自然災害、防災、減災の取組等につきまして、地図や写真等から調べて、日本の自然環境に関する特色等を理解したりする活動、課題解決など、様々な活動を取り入れております。なお、東京書籍、教育出版、日本文教出版については、本文という形で取り上げますが、帝国書院につきましては、コラムも併せて掲載し、詳しい状況や新しい内容を掲載しております。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

有田委員。

(有田委員)

地理的な見方、考え方を働かせ、課題を追及したり、解決したりする学習を進める中で、主体的・対話的で深い学びを実現するためのプロセスは、どのように工夫をされているか、説明をお願いしたいと思います。

(和田副委員長)

主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習ということで、各教科書それぞれ取り上げております。東京書籍では、「日本の位置」の中で、「みんなでチャレンジ」というコラムなどを活用しながら、参加型の学習を取り入れております。教育出版では、主に「日本の地域」の中で、「防災教育」というのがありますので、コラム「地理の窓」を活用しながら、個人やグループで学びを深める場面などがあります。帝国書院では、「地域の在り方」という項目で、社会的な課題を分析し、その解決に向けた構想に取り組む活動を適宜取り入れております。日本文教出版では、「世界の諸地域」という部分を含め、社会的な課題のチャレンジやアクティビティを通して深い学びに繋げ、節の最後で地球的課題を取り上げるなど工夫がなされています。

(程野会長)

その他、地理にかかわって質疑ございますか。なければ、歴史について質疑ございますか。
山本委員。

(山本委員)

社会科は全体を通しまして、教科目標が社会的な見方、考え方、課題の探究と解決など、幅広い視野に立ち、国際社会において主体的に平和的で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質・能力の育成というような大きな目標がありますが、これらを踏まえまして、歴史分野において小学校との円滑な接続が重要であると考えますが、小学校社会科における学習活動との関連について、どのような取扱い、工夫がされているか、伺いたいと思います。

(加藤副委員長)

小学校との円滑な接続が重視されているということで、今回、全者にかかわって最初に「私たちの歴史」において小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わり方について考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから年代の表し方や意義を理解したりする活動が配慮されています。また、各章のはじめに、小学校での学習内容が想起できるような排列になっています。以上です。

(程野会長)

その他、質疑はございますか。
菅原委員。

(菅原委員)

北海道と特に関係の深い、アイヌの人たちの歴史や文化等に関する内容については、どのように取り上げてられているかお聞きします。

(加藤副委員長)

アイヌの人たちの歴史や文化等に係る記述については、全者掲載されております。特に内容に関わっては、人権の尊重・多文化共生の意識を高めるよう配慮されております。また、神話や衣食住について詳しく理解できるよう配慮されております。7者のうち5者は、18ページ前後の記載が設けられております。山川出版社と育鵬社については、8ページの記載となっております。東京書籍に関しては、単元のまとめとは別に、ピックアップされた形で、子どもたちがそれに係わってディスカッションできるような、背景や読み取りの資料が掲載されております。以上です。

(程野会長)

その他、歴史にかかわって質疑ございますか。なければ、公民について質疑ございますか。
菅原委員。

(菅原委員)

国際社会における日本の役割について理解や考え方を深めることが求められておりますが、このことについて、どのような内容が取り扱われているのか、伺いたいと思います。

(西田副委員長)

東京書籍では、世界の難民発生数について取り上げ、国際連合をはじめとする国際機関の役割を理解するなどの例が挙げられております。教育出版では、WHOによる感染症の予防薬の投与について着目し、国際連合をはじめとする国際機関の役割を理解するような内容が取り扱われております。帝国書院では、国別の二酸化炭素の排出量について着目し、国際連合をはじめとする国際機関の役割を理解する等の内容が取り上げられております。日本文教出版では、世界の飢餓の状況について取り上げ、国際機関の役割を理解する等の例が挙げられております。自由社では、世界の人口予測について取り上げ、国際機関の役割を理解するなどの例が挙げられております。育鵬社では、編修趣意書を通して調査したことですけれども、2050年の人口予測について着目し、国際機関の役割を理解するなどの例が挙げられております。

(程野会長)

その他、公民に関わる質疑はございますか。
佐々木委員。

(佐々木委員)

公民の分野におきましては、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を探究するなどの活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を育成することが重要であると考えております。このことについて、内容の構成、そして排列がどのように工夫されているか、お伺いいたします。

(西田副委員長)

東京書籍では、「現代社会と私たち」という単元におきまして、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列し、最後の章では社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題と関連する活動を設定しております。教育出版では、「私たちの暮らし方と現代」において、現代社会の見方・考え方の基礎の学習した後に、政治・経済を排列し、最後の章では同じく社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての

課題を探究する活動を設定しております。帝国書院では、「現代社会」という単元において、同じく、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列し、最後の章では社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定しております。日本文教出版では、「私たちと現代社会」という単元において、見方・考え方の基礎を学習した後、政治・経済を排列、そして最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定しております。自由社では、「現代日本と個人の社会生活」において、見方・考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列、そして最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動に結びつけています。育鵬社では、「私たちの生活と現代社会」という単元において、現代社会の見方・考え方を学習した後、政治・経済を排列、そして、まとめのところでは、持続可能な社会の構築についての課題を探究しています。6者とも、大体似たような内容・排列となっております。以上です。

(程野会長)

その他、公民にかかわって質疑ございますか。なければ、地図について質疑ございますか。
菅野副会長。

(菅野副会長)

地理的分野においては、グローバル化する国際社会で子どもたちが主体的に生きるために、我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解することが求められていると思います。このことについて地図において、どのように工夫されているのか、お伺いをしたいと思います。

(石森副委員長)

2者とも資料が大変豊富に掲載されております。「一般図」に続きまして、資料のページになっております。それぞれ資料が豊富に挙げられていますし、環境や現在の問題である持続可能な社会に向けた資料、巻末には世界各国と日本の各県の統計資料が載っておりまして、各日本の地域、諸事情、地域的特色を理解するために工夫や配慮がなされていると考えております。以上です。

(程野会長)

その他、質疑はございますか。
大井委員。

(大井委員)

北方領土についてどのように取り扱われているのか、お聞きしたいと思います。

(石森副委員長)

2者ともに、巻末に日本の領土に係わるページが設けられております。北方領土ならびに、日本の尖閣諸島や竹島の領土、日本の南端・東端等も全て網羅した形でこちらのページに載っております。また、北海道のページには、それぞれ北方領土の歴史も含めた形で2者ともに掲載をされております。

(程野会長)

その他、質疑はございますか。

堀江委員。

(堀江委員)

障害、その他の特性にかかわらず、生徒にとって読みやすいこと、見やすいことが大切であるため、ユニバーサルデザイン化に向けた取り組みが求められていますが、どのように対応しているか、お伺いします。

(石森副委員長)

東京書籍では、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。ゴシック体を踏襲しています。また、都道府県名、都道府県庁所在地名については、手話の絵を取り入れた形で記載しております。帝国書院では、ユニバーサルデザインフォント、これも同じくゴシック体を使用しています。また、色覚的に問題がある生徒に対応するために、配色を工夫し、配慮しています。以上です。

(程野会長)

その他、地図にかかわって質疑ございますか。なければ、以上をもちまして社会/地理・歴史・公民・地図についての報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第11小委員会の第9条図書について、ご報告をいただきます。まず、自己紹介をお願いいたします。

(佐々木第11小委員会委員長)

第11小委員会委員長を務めさせていただきます、幕別町立忠類中学校の佐々木でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(眞壁会第11小委員会副委員長)

同じく、副委員長を務めさせていただきました、音更中学校の眞壁と申します。よろしくお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第11小委員会の第9条図書について、ご報告をいただきます。よろしくお願いいたします。

(佐々木委員長)

令和3年度、一般図書に新たに掲載された図書は10冊になります。各図書、1分程度、特徴的な事柄のみを説明させていただきます。『しかけ絵本 げんきにごあいさつ』は、動物を主人公とした、しかけ絵本で主人公が様々な動物に挨拶を繰り返すことで、挨拶の習慣が自然と身に付くように構成されています。また、強調する言葉が太字で書かれており、わかりやすい配慮がなされています。挿絵も明るく色彩を意識していて、開くと扉が立ち上がるような仕掛けもあり、子どもの興味を引き付けるような工夫がされています。『CD付き英語カード あいさつと話しことば編』には、中にカードとCD-ROMが入っています。カードは子どもがイメージしやすいイラストが描かれていて、英文をサポートするような形になっています。裏面を返すと、日本語訳が書かれており、手で押さえて隠して子どもたちに問いかけ、手を外すと子どもたちに見えるという配慮がされています。また、会話表現もすべて日常的なもので、英語そのものに親しみやすいような配慮がされています。付属のCDでは、実際の発音や英語の歌を耳で聴かせながら、子どもが実際に声を出すことを促すような工夫がされています。『イラスト版体育のコツ 運動が得意になる43の基本レッスン』では、6つの種目を見開き2ページで解説しています。それぞれの種目を基本から発展まで動きがわかるように掲載していて、子どもの発達や習熟度の応じた指導ができるよう配慮されています。また、つまずきやすい点やコツなども書かれています。子どもが自分の動きを振り返りながら主体的に取り組めるように工夫されています。『こどもきせつのぎょうじ絵じてん 第2版小型版』では、1年間の年中行事や記念日などの由来や歴史を色彩豊かな挿絵と平仮名による簡単な言葉で説明しています。日本の季節の移り変わりや文化を自然に学ぶことができると思いました。大人でも読んでいて、なるほどそうだったのかと知らされるような本でございました。『やさしいこどものうたとあそび』では、歌いながら遊ぶことができる歌が幅広いジャンルで146曲掲載されています。子どもがメロディーに合わせて楽しみながら身体を動かすことができるように配慮されていました。また、全曲に楽譜が掲載されていたので、教師がピアノやオルガンで伴奏しやすいような工夫もされています。『ブルーナの絵本 まる、しかく、さんかく』では、挿絵から形に関心を持たせて、形が持つ性質について気付かせることを目的として構成されています。挿絵は時計や窓、ヨットの帆など子どもにとって親しみのあるものを取り上げていて、視覚的に非常に分かりやすくなっていました。この本についても、興味・関心を高めながら主体的に、形を学習できる工夫がされています。『フレーベル館の図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑(1) かがくあそび』では、遊び方が分かる「かがくあそび」、実験を紹介する「もっとやってみよう」、楽しい科学遊びを紹介する「とくしゅう」の3部で構成されています。そして、簡

単に調達できる材料を使って、体験的に自然現象について理解できるように配慮されています。実験の方法は豊富なイラストや写真、文章で説明されていて、子どもが関心を高めながら学ぶことができる工夫がされています。『たいせつなこと』では、身近にある物や風景を取り上げて、大切なことは何かを考えながら読み進めることができます。決まった言い回しを繰り返すことで安心感を持つことができ、物語の展開も見通しやすくなっています。この本についても挿絵の工夫などにより、子どもの興味を引き付ける工夫がされています。『つくってたべよう！ お料理マジック2』では、22種類の料理を数ページかけて取り上げ、丁寧に解説する構成となっています。料理の手順や出来上がりなどはカラー写真で紹介されていて、料理の工程もシンプルかつ時間をかけずにできるものが中心になっています。知的障がいを持つ、あるいは併せ持つ子どもが、自立活動に意欲的に取り組めるよう工夫がされています。『かおノート』では、ベースとなる様々な顔の絵に目や口、耳などを自由に貼ったり、ペンで描いたりして想像力を高めながら作品を仕上げることができるよう配慮されています。貼るシールも大小、形、様々、そして豊富に用意されていて、幅広い年齢の児童生徒、そして障がいの程度に応じて子どもが楽しみながら取り組むことができるよう工夫されています。以上の10冊を委員会で研究しました。

(程野会長)

それでは第9条図書について、質疑を受けたいと思います。質疑はございますか。

福地監事。

(福地監事)

生徒の障がいの重度・重複化、多様化への対応を踏まえ、一人一人の障がいの状態、発達の段階等に応じてきめ細かな指導の充実を図る工夫が求められておりますが、このことについてどのように配慮されているか、お伺いをいたします。

(佐々木委員長)

10冊とも新しい学習指導要領に沿った、何を学ぶかという学習内容の見直しと、まず何ができるようになるか、そしてどのように学ぶかという、学びの過程を一体的に捉えた図書が多くみられました。特に生徒の障がいの重度・重複化、多様化への対応という部分では、例えば、『まる、さんかく、しかく』という図書では、身の回りにあるものを非常にシンプルな絵で示すことで、余計な情報を極力削除した中で必要な情報のみを視覚的に示す、そして障がいの重度・重複化、多様化している生徒に対して、大変分かりやすい図書となりました。また、描かれている絵も多様な、様々な分野のものであるため、関心を持つきっかけになる本であると思いました。それぞれの図書、いろいろな配慮がされていると思っております。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

荻原委員。

(荻原委員)

ただいま、いろいろお話しいただきました9条図書について、主体的・対話的で深い学びを推進するための配慮は、どのようにされているのか、お話を伺いたいと思います。

(佐々木小委員長)

子どもが自ら学ぶ、そして考えるという部分の配慮は、色々な図書で見られました。特に『イラスト版体育のコツ』という本では、基本的な動きから発展的な動きまでイラストを使いながら、動きがわかるような解説がされていました。また、正しい姿勢だけではなく、悪い例やコツなども写真で解説されており、「どのように学ぶか」という学びの過程が非常に意識されている排列となっているように感じました。子どもが自分で考えて、どうすれば上手にこの運動ができるようになるかを考えさせるような図書であると思いました。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

大井委員。

(大井委員)

障がいのある生徒が、主体的に学習に取り組む態度を身に付けるためには、どのような工夫がされているのか、お聞かせをいただきたいと思います。

(佐々木委員長)

子どもが主体的の学ぶという部分では、興味・関心を高めていくということがとても重要であると思っています。先ほどの図書の中で、『不思議をためす図鑑 かがくあそび』という本では、身近な遊びの中から不思議に思わせることによって、興味・関心を高めるような構成でした。そして、自分で探究するきっかけを作るといったようなことが意識されていると思いました。自己解決能力、そして、そこから主体的に学ぶ力を育むというような、そんな意識がされているように感じました。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

菅野副会長。

(菅野副会長)

「令和3年度用一般図書一覧」に新たに掲載された今回の図書ですけれども、その発行者・図書には、どのような特徴があるのかお伺いをしたいと思います。

(佐々木委員長)

今までの図書と比べた中では、やはり新しい学習指導要領を非常に意識した作りになっていると、10冊とも感じました。特に「何を学ぶか」という学習内容の見直しにとどまらず、「何ができるようになるか」という観点に立った育成を目指す資質・能力、そして「どのように学ぶか」という学びの過程を一体的に捉えた図書が多く見られたように思います。また、子どもたちがそれぞれ興味や関心を高めながら、一人一人の個性や障がいの程度に応じて、質の高い学びを引き出すような10冊の図書だったと思います。

(程野会長)

その他、質疑はございますか。なければ、以上で第11小委員会の第9条図書についての報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございます。ここで昼食休憩といたします。再開を13時とします。

〈再開：13時00分〉

(程野会長)

休憩前に引き続き、会議を開きます。それでは、第4小委員会の理科について、ご報告をいただきます。まず、自己紹介をお願いいたします。

(松橋第4小委員会委員長)

第4小委員会委員長の広尾町立広尾中学校、校長の松橋でございます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

(二宮第4小委員会副委員長)

同じく、副委員長の浦幌町立浦幌中学校、教頭の二宮でございます。よろしくをお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第4小委員会の理科について、報告をよろしくお願ひします。

(松橋委員長)

理科につきましては5者ありますので、ひとつずつ1年生の教科書を使って報告させて

いただきます。東京書籍では、P177「力の大きさとばねの伸びの関係を調べる実験」の活動を通して、ばねに加わる力の大きさとばねの伸びの関係性や物体に力が働くとその物体が変形することを理解する、理解の部分についてはP181で説明がございます。そして、見通しをもって観察・実験を行い、力の働きの規則性を見出して表現するなどの学習活動をP184で取り上げて、目標を達成できるようになっておりました。また、P202「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」の部分ということで、「大地の変化」において、学習課題の設定がP202で行われ、子どもたちに見通しを持たせるとともに、火山噴出物について調べがP203、上空まで噴き上げられた火山灰はどうなるかについて話し合いをP205で提示するなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられております。次にP94からの「内容の構成・排列について」は、「身のまわりの物質」において、身のまわりの気体の性質についての学習がP94で行われた後に、身のまわりの物質から発生する気体の学習をP97で扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされておりました。続きまして大日本図書では、P155で凸レンズによる像のでき方を調べる実験が提示されております。物体の位置と像の位置や大きさ、像の向きの規則性や関係性を理解する部分がP156で取り上げられております。そして、見通しを持って観察・実験を行い、凸レンズによる像のでき方の規則性を見出して表現するなどの学習活動がP158で取り上げられております。このようにして目標を達成できるように構成されておりました。続いてP18からの「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」において、「生物の世界」の「生物の観察の進め方」がP18からになります。そして、学習課題を設定がP21で行われ、見通しを持たせるとともに、生物について調べるがP21で始まっております。調べられた生物を分類する部分がP23にあり、観点について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられております。次にP144からになりますが、「内容の構成・排列について」は、「身近な物理現象」において、光の反射についての学習がP144から始まります。そして、鏡に映る像の位置を調べる学習がP147で扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされておりました。続きまして学校図書では、まずP141からになりますが、光が物体を通る時の進み方を調べる実験がP141から始まります。この活動を通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を理解するという内容がP145で扱われております。見通しを持って観察・実験を行い、光の屈折の規則性を見出して表現する学習活動が同じくP145で提示されると、目標を達成できるようになっておりました。次にP68からになりますが、こちらでは「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、「身のまわりの物質」において、学習課題の設定がP68で行われております。そして、生徒たちに見通しを持たせるとともに、物質の分類について調べる活動がP69。そして、身のまわりの物の分類について話し合いをP70で行うというように、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられておりました。次にP78から「内容の構成・排列について」でございますが、「身のまわりの物質」において、物質の体積と質量についての学習がP78から始まります。そして、その内容を受けて、最後に物質の浮き沈みについて

の学習が P83 で出てきております。このように、系統的・発展的な学習できるような工夫がみられました。続きまして教育出版では、鏡に反射する光の入射角と反射角の関係を調べる実験が P230 で提示されております。この活動を通して、光や水がガラスなどの物質の境界面で反射するときの規則性を理解する学習が P233 に出てまいります。そして、見通しを持った観察・実験を行い、光の反射の規則性については P236、並びに P243 では全反射という形で学習活動を取り上げながら、学習目標が達成できるようになっておりました。また「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」ということで、「生物の特徴と分類の仕方」これが P22 から始まります。「似ている物質の見分け方」が P82 などにおいて、疑問・課題・仮説・計画・実験観察・考察・結論の順に生徒が主体的に話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられております。「内容の構成・排列について」は、「大地の成り立ちと変化」において、火山の噴火や地震についての学習が P179 から始まります。その後、ハザードマップが P212 に出てきております。これを基にして火山の噴火や地震から身を守る学習を扱うなど、系統的・発展的な学習の工夫がみられておりました。続きまして啓林館では、P242「力の大きさとばねの伸びの関係」を調べる実験が提示されてまいります。ばねに加わる力の大きさとばねの伸びの関係や物体に力が働くとその物体が変形することを理解するという内容を P246 で扱い、そして、見通しを持って観察・実験を行い、力の働きの規則性や関係性を見出して表現する学習活動を P250 で取り上げて、目標を達成できるようになっておりました。P142 から「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、「身のまわりの物質」において、学習課題を設定が P142 で行なわれております。そして、生徒たちに見通しを持たせるとともに、水溶液の性質について調べるところが P143、質量パーセント濃度の関係について話し合いを P150、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動がこのように取り上げられておりました。また、P68 から「内容の構成・排列について」は、「活きている地球」において、身近な大地について学ぶということが P68 から始まります。そして、地域の大地を観察の部分が P72 で提示された後、地震や地層についての学習が P75 で扱われるなど、系統的・発展的な学習ができるに工夫がなされておりました。どの教科書も、非常に素晴らしく工夫されたものであると思います。以上でございます。

(程野会長)

それでは理科について、質問を受けたいと思います。質問はございますか。

有田委員。

(有田委員)

理科においては、日常生活との関連が重視されていると思いますが、このことについてどのように工夫がされているかお聞きしたいと思います。

(松橋委員長)

理科につきましては、日常のいろいろな科学的なものを、科学として子どもたちに知らせていくという、本当に日常生活にかかわりが深いものだと思っております。その視点で各教科書のほうを見させていただきました。まず大日本図書では、単元の中に学習に係るコラムという形で生活と結びつけるというのが複数出てまいりました。例えば、P25の「よび名が変わる魚」や、P63では「水族館」を題材として扱っているなどというものがありませんでした。学校図書では、P186の「学びを日常に生かしたら」で、子どもたちが日常使っている自転車の反射板を題材にしたコラムが書かれておりました。東京書籍では、P101「身の回りの金属の利用」ということで、身近にある金属を学習と結びつけてという形で出ておりました。教育出版では、P105「ハローサイエンス」で、飛行機のタイヤに窒素が充填されているということで、ただ飛行機を見るだけでなく、タイヤなどにも興味・関心を深めるのではないかと感じました。啓林館では、P53の「グラウンドの白線」で、日頃使っている白線が非常に身近な貝だとかで出来ていること取り上げておりました。また巻末の「サイエンス資料」がかなり充実しておりました。

(程野会長)

その他に質疑はございませんか。

荻原委員。

(荻原委員)

理科で子どもたちを育成するための基本的な考え方として、科学的に探求する資質・能力を養うことが必要だと思われませんが、このことについて、どのような活動が扱われているのか説明をお願いします。

(松小委員長)

子どもたちが探究の活動に触れる、その大事な役割を理科が担っていると感じております。そして、その探究をより明確にしていくためには、観察・実験などを通して、そして、しかもその内容をレポートなどに起こすことによって深めることができると考えております。そのような視点から各教科書のほうを見させていただきました。東京書籍では、P2の「科学で調べていこう」で、探究に対して誘うような内容がございました。P31で観察、それからP32でレポートの書き方、P49がその活用の仕方、P77では「実験」、そしてP84「実験器具の使い方」、P86の「実験例」などで、探究を子どもたち自身でも進めていけるような配慮が見られたというところがあります。大日本図書では、P18に「観察」、そしてP22には、それをレポートにまとめる時のお手本として「私のレポート」という形で書いてありました。そしてP23では「観察の結果から考えてみよう」ということで更に深めていくような内容があります。またP76には「実験器具の使い方」があった後、P83に「実験」が指定さ

れ、そしてその結果を P83 で「結果から考えよう」、そしてその「結果から考えよう」から出てきたものを P86 では実際に「やってみよう」ということで更に深めていくというような活動が示されております。学校図書では、P4 に「探究の進め方」ということで、まとめて書いてございました。P20 には「問題発見」、それから学校図書では「Can-Do List」というものがございまして、その中で学習を進めていく時の目的の持ち方や、何をしていくのかというようなことを明示してありました。そういうものがあつた後、例えば P23 に「観察の準備」、P24 に「レポートやノートの書き方」、P28 には「探究」という形で、より深めていくというようなものがありました。教育出版では、本文の前の資料的な部分のページの②に「探究とは」という探究についての説明があり、⑤には「探究の進め方」ということで具体的な手順等がありました。そして、P3 には「レポートの書き方」、そして P4 には「基礎技能」ということで、いろんな紹介がございました。それらを受けて、P15 から「観察の進め方」、P82 のほうには「探究してみよう」など、さらに深めていく活動が徐々に増えていくという作りになっておりました。啓林館では、本文の前の P4 に「探究の過程」というのがあつて、手立て・手順などがありました。そしてその後「この教科書の使い方」というところで、具体的な探究についての説明があつた後、P6 には「観察の進め方」、それが示された後「観察」、そして「わたしのレポート」というような形で探究を深めていく活動が手順良く書かれておりました。また、内容の所々で「みんなで探究クラブ」というものがあり、ここでも更に深めるような内容が提示されておりました。

(程野会長)

その他に質疑はございませんか。

武田委員。

(武田委員)

今月も九州などを中心に大きな水害の被害がありました。昨今頻発している自然災害について各教科書でどのように取り扱っているかお聞きします。

(松橋委員長)

自然災害につきましても、近年台風やそれに伴う水害、それから大地震、こういうものがあるということで、非常に重要な部分として見させていただきました。これらの災害に係わる部分につきましては、1年生の教科書では扱ってはおりませんでした。どの教科書でも2年生の気象・天気の部分で、それから3年生の最後に理科という教科と私たちの暮らしなどを結びつける部分に出ておりました。東京書籍では、2年生の P222 から「気象現象がもたらすめぐみと災害」という形で扱っておりました。3年生の P297 からは「自然災害と地球のかかわりを学ぶ」という中で扱っておりました。大日本図書では、2年生の P283 からの「自然の恵みと気象災害」、そして3年生では P296 から「地域の自然災害」という中で扱

っております。学校図書では、2年生 P267 の「気象に関わる恵み・災害」、3年生 P259 からの「自然の恵みと災害」の中で扱っております。教育出版では、2年生 P212 「大気の躍動と恵み」、3年生 P290 からの「自然災害と私たち」の中で扱っております。啓林館では、2年生 P122 「天気の変化がもたらす恵みと災害」、3年生 P290 から「自然が人間生活におよぼす影響」という中でそれぞれ扱っておりました。

(程野会長)

その他に質疑はございませんか。

福地監事。

(福地監事)

探求の方法や観察・実験レポートの作成について、どのように配慮されているか教えていただきたいと思います。

(松橋委員長)

課題設定をしっかりしよう、問題を見つけていくというところを大事にしているのが、各者とも共通した部分になります。その中で、話し合いの活動を設定して課題を見つけていこう、ここで一回、対話的活動ができるようにした後、それを基にして各グループの課題を見つけよう、そして見つけた後、どのような手順で観察・実験を行うかということも話し合いを行う。その後、実験・観察を行ったその結果から考察の部分があって、そこでまた話し合う。そしてその後、結論が出てきたものを更に深めていく発展の形でやっていこうというような段階をスモールステップで表して、各自の探究を深めていく活動に結び付けようというような取り組み方をどの教科書も行っておりました。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。なければ以上で理科の報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第5小委員会の音楽について、ご報告をいただきます。まず、自己紹介をお願いいたします。

(久保第5小委員会委員長)

第5小委員会、委員長の芽室西中学校の久保でございます。よろしく願いいたします。

(石丸第5小委員会副委員長)

副委員長の土幌町中央中の石丸です。よろしく願いいたします。

(程野会長)

それでは、第5小委員会の音楽について、ご報告をよろしく申し上げます。

(久保委員長)

音楽の調査結果について報告させていただきます。教育出版では、「歌唱」については、2・3年上下の教科書で斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成との関わりを理解し、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。また「創作」につきましては、第1学年教科書P32からP35のように、言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。「鑑賞」につきましては、同じく第1学年教科書P48の我が国や郷土の音楽や、P54のアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解したり、複数の音楽の特徴や関連について考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。「主体的・対話的で深い学びの実現」につきましては、2・3年生下の教科書P24「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられています。「器楽」の教科書、器楽につきましては、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造のかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい楽器表現を創意工夫する学習活動を取り上げて、目標を達成できるようになっています。教育芸術社では、「歌唱」につきましては、同じように2・3年上下の教科書では、斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結びつきを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。「創作」については、1学年の教科書P21では、音の繋がり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する学習を取り上げ、目標を達成できるようになっています。「鑑賞」につきましては、同じく1学年のP54から、我が国や郷土の音楽及び諸外国の様々な音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化を理解し、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等の良さや美しさを味わって聴く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。「主体的・対話的で深い学びの実現」については、2・3年生下の教科書P32の「Let's Create」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルを作るなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられています。「器楽」につきましては、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色・強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法や

パートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けてりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。以上でございます。

(程野会長)

それでは音楽について、質疑を受けたいと思います。質疑はございますか。

高橋委員。

(高橋委員)

教育基本法では、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することとされていますが、我が国や郷土の音楽文化・和楽器・伝統的な歌唱について、どのように配慮されているか教えてください。

(久保委員長)

両者とも、第1学年の目次をご覧いただきたいと思いますが、全学年、全領域の中でバランスよく取り上げられています。教育出版では、1学年で日本の歌として「夏の思い出」など、郷土の音楽文化や和楽器・伝統的な歌唱として「ソーラン節」など、また「六段の調べ」や、その発展学習として「郷土のさまざまな民謡」「日本語の抑揚を生かした旋律を作ろう」「日本とアジアの声によるさまざまな表現」が表現されています。教育芸術社では、1学年で日本の歌として「浜辺の歌」「赤とんぼ」、郷土の音楽文化や和楽器・伝統的な歌唱として「越天楽」「六段の調べ」「日本の民謡」「ソーラン節」、その発展学習として「郷土に伝わる民謡を調べよう」「アジアの諸民族の音楽」「生活や社会の中の音楽」と、両者において学習指導要領の趣旨にある我が国や郷土の伝統文化に親しみ、良さを一層味わえるように、また発展学習において更なる充実が求められるよう、工夫がされています。なお、2・3年上下、器楽の教科書についても同様の工夫がされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

大井委員。

(大井委員)

国歌「君が代」についてお伺いしたいと思います。国歌「君が代」について、どのように取り上げられ、歌詞の意味について、どのように掲載されているのか。また、他国の国歌を尊重する工夫はどのようにされているのかお聞きいたします。

(久保委員長)

国歌「君が代」につきましては、両者とも第1学年の後半に掲載されている「君が代」のページをご覧ください。どの出版社におきましても、1年、2・3年上下の教科書に掲載しており、どの学年においても指導ができるようになっております。また、両者とも掲載ページが開きやすいよう、厚い紙を使用するなど工夫されています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

水野委員。

(水野委員)

学習指導要領では「主体的・対話的で深い学びの実現」をするため、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協力しながら音楽表現を見出したり、音楽を聴いて、そのよさ、美しさ等を見出したりするなど、思考・判断・表現する、一連の過程を体現する学習の充実を図ることとなっていますが、具体的にどのように取り扱っているのかをお伺いします。

(久保委員長)

両教科書とも2・3年上の教科書、教育出版につきましてはP28、教育芸術社はP36をご覧ください。どの出版社においても「主体的・対話的で深い学びの実現」をするための学びの工夫がなされています。また、自分の思考を整理したり、深めあったりすることを更に書き込んだりするスペースを設けるなど工夫がされていました。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

佐々木委員。

(佐々木委員)

音楽表現を学ぶ上でICT機器の活用については、どのような配慮がなされているのか、お伺いしたいと思います。

(久保委員長)

2・3年上の教科書、教育出版は目次の右下とP26の上、教育芸術社はP21右下をご覧ください。教育出版は、教科書内に「学びリンク」がある場合は、目次に掲載されているQRコードを、教育芸術社は教科書内に数か所あるQRコードから、発展的な資料を調べることができるようになっているなど、アクセス方法に違いはありますが、どの出版社もGIGAスクール構想の中にある、生徒一人一台が学習用端末を持ち、創造性を育むICT環境に対応し

ていました。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。ないようですので、以上で第5小委員会の『音楽』の報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第6小委員会の美術について、ご報告をいただきます。準備ができましたら、自己紹介をお願いいたします。

(服部第6小委員会委員長)

豊頃中学校の服部和樹と申します。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

(嵐田第6小委員会副委員長)

音更町立共栄中学校の嵐田といいます。よろしく申し上げます。

(程野会長)

それでは、第6小委員会の美術について、ご報告をよろしく申し上げます。

(服部委員長)

それでは、美術科の教科書についての報告をいたします。調査の仕方につきましては美術に関しましては、取扱内容の項目別に調査をしておりますので、その取扱内容の項目毎に説明をしながら、その後、内容の構成・排列等についても説明をしたいと思います。まず、絵や彫刻についての説明をいたします。

(嵐田副委員長)

私のほうからページ数をお知らせしたいと思います。まず、開隆堂、1年生ですが、P10からP13「絵画について」、合わせて同じく1年生のP20・21で「彫刻の魅力」を紹介したいと思います。また、「絵画・彫刻」について、他の出版会社についてもページ数をお知らせしたいと思いますので、そちらのほうも併せてご覧いただきたいと思います。光村書店ですが、絵画については、1年生P10・11、P16・17をご覧いただきたいと思います。次に日本文教出版の1年生ですが絵画に関わって、P12・13、P16からP19をご覧いただきたいと思います。

(服部委員長)

それでは各社の特徴について述べたいと思います。開隆堂では、身近なものや風景を観察して絵を描いたり、使われなくなった材料の形や色彩、質感などの特徴を活かして表したりする活動があります。光村図書では、身近なものや人物の仕草からイメージを広げて絵を描

いたり、自然物や身近にある材料の形や色彩、材質を活かして表したりする活動。日本文教出版では、身近ある人や情景、愛着のある物をよく見て絵を描いたり、木の枝や廃材などの形や色彩、質感を活かして表したりする活動。これらを通して、各者、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫をし、美しく表現することが狙いとなっております。

(嵐田副委員長)

続いて、2・3年生の紹介をしたいと思います。開隆堂ですが「絵画・彫刻」に関わっては、P20・21、P28・29をご覧ください。つぎに光村図書ですが「絵画・彫刻」に関わって、P18からP21をご覧ください。日本文教出版ですが上下に分かれておりますが、始めに上巻ですが「絵画・彫刻」にかかわって、P12・13、P16・17、下巻は、P18・19をご覧ください。

(服部委員長)

開隆堂では、想像力を活かしたり、表現方法を工夫したりして絵を描いたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動。光村図書では、目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物の面白さや動きを立体に表したりする活動。日本文教出版では、視点の違いや構図を工夫して印象の変化を活かした絵を描いたり、量感や動勢などを活かし、感情やイメージを立体に表したりする活動。これらを通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や、自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現することが狙いとなっております。

(嵐田副委員長)

つづいて、「デザイン・工芸」についてです。初めに1年生、開隆堂ですがP38・39、P48・49をご覧ください。光村図書ですが1年生、P44・45、P52・53をご覧ください。日本文教出版ですが、P40・41、P46・47をご覧ください。

(服部委員長)

開隆堂では、身のまわりにある形や色彩から、その特徴を活かして模様を考えたり、木の温もりや木目の美しさを活かし、工芸品をつくったりする活動が載っております。光村図書では、地域の特性を活かしたデザインを形や色彩を工夫して考えたり、様々な用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途に応じた焼き物をつくったりする活動が載っています。日本文教出版では、自然の植物や生き物を忠実に表現し、人工的な模様と身近な紙の特性を活かし、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動が載っております。これらを通して、豊かに発想し構想する能力や、形・色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現することが狙いとなっております。

(嵐田副委員長)

続いて、2・3年生です。開隆堂は、P62・63、P82・83 をご覧ください。光村図書ですが、P68 から P71 をご覧ください。日本文教出版は、2・3年生の上巻 P42・43 をご覧ください。

(服部委員長)

開隆堂では、人々の生活環境や自然環境など、広く視野を持ち、伝統工芸品や製品をデザインする活動。光村図書では、地域の特性を考え、地域の魅力を伝えるデザインとし、椅子の座り心地や利便性を求めるようなものが載っております。日本文教出版では、木や革などの材料の特性を活かした工芸品のデザインを工夫する活動。これらを通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や、自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現することが狙いとなっております。

(嵐田副委員長)

続いて、「鑑賞」の分野については、2・3年生を紹介させていただきます。まず、開隆堂の P38 からの見開きのページになっております。P58・59、P60・61 をご覧ください。続いて光村図書ですが、P10 から P13、P24 からの見開きのページをご覧ください。日本文教出版は、2・3年生上巻 P52・53、下巻 P51 をご覧ください。

(服部委員長)

開隆堂では、障屏画や水墨画の良さや美しさ、これらを通して美術文化の見方や感じ方、更に、ロマン主義の主題との関りや印象派の光の捉え方など、表現方法の違いや美術文化に対する関心。光村図書では、浮世絵の構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響、また、透視図法を記入する活動などを通して、表現の工夫や意図についての理解を深めること。日本文教出版では、パブリックアートやアートイベントなどの現代美術の美しさや面白さ、更には、原寸大の作品を隅々まで見られるような紙面があります。これらの鑑賞を通して、話し合う活動や作者の意図と創意的な工夫などについて、理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと芸術との関わりに関心を持ち、良さや美しさなどを味わったりすることが狙いとなっております。

(嵐田副委員長)

つぎに「主体的・対話的で深い学び」についてですが、開隆堂は、1年生 P40・41、2・3年生 P68・69 をご覧ください。光村図書ですが、1年生 P22・23、2・3年生 P66・67。日本文教出版ですが、1年生は P14・15、2・3年生上巻 P34・35 をご覧ください。

(服部委員長)

開隆堂では、身のまわりのロゴタイプやシンボルマークの形や色彩、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫など。光村図書では、風景を描いた作者の思いや視点の工夫、様々な光が生活の与える印象や効果。日本文教出版では、形や質感、色彩など作品の表し方の違い、また季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインの良さ。これらの題材を使って学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、交流などをし、考えを広げたり深めたりする活動になっております。続きまして「内容の構成・排列」について、こちらは各教科との関連について、口頭で述べさせていただきます。開隆堂では、「祭りの造形」の題材において、社会科との関連。2・3年生においては「安心と安全のデザイン」の題材において、保健体育科との関連が見られます。光村図書では、「生活を彩る文様」の題材において、数学科との関連。2・3年生においては「メッセージを伝える」の題材において、国語科との関連が見られます。日本文教出版では、「自然の美しさから生まれた」の題材において、理科との関連。2・3年生については「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、外国語科との関連が見られております。続きまして、「使用上の配慮」「その他」について述べます。これも口頭で述べさせていただきます。開隆堂では、全学年の巻末で「学びの資料」として、学習のまとめの資料や技法、用具の使い方などを紹介したり、2・3年生の「美術の歴史と交流」で北海道の土偶やパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。光村図書では、全学年の巻末で「学習を支える資料」として、鑑賞の流れや話し合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、2・3年生の「伝統工芸」「民族衣装」の鑑賞題材で、アイヌの伝統文様や着物を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。日本文教出版では、全学年の巻末で「学びを支える資料」として、技法の資料や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、2・3年生の「暮らしに息づくパブリックアート」の鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。また、北海道とかかわりのあるページとして、開隆堂では、アイヌ文化、着物、彫刻、ロゴマークなどが取り上げられております。光村図書では、アイヌ文化、木彫や着物、また彫刻、包装紙のデザインなどが取り上げられています。日本文教出版では、北海道にかかわりのあるアイヌ文化、着物と木彫、また北海道出身の作家が紹介されております。その他に、彫刻やシンボルマークなども取り上げられています。以上で、教科書についての調査・研究といたします。

(程野会長)

それでは美術について、質問を受けたいと思います。質問はございますか。

三澤委員。

(三澤委員)

美術科においては、鑑賞と表現を関連づけて指導する中で、学習の広がりや深まりについ

て配慮することも重要であると思います。鑑賞についての取扱については、どのような工夫がされているのか、お教えいただきたいと思います。

(服部委員長)

開隆堂では、「学習のポイント」や「美術の用語」、「作者の言葉」といった鑑賞のヒントとなる項目が記載されております。光村図書では、美術作品の見方についてのページや、各単元の最初に「鑑賞」の項目があり、題材について深める活動があります。日本文教出版では、表現と鑑賞の両方が関連するページが見出しに記載されており、「造形的な視点」という鑑賞のヒントが記載されております。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。
荻原委員。

(荻原委員)

主体的・対話的で深い学びについて、美術科においてはどのような配慮がなされているのかお伺いします。

(服部委員長)

「主体的・対話的で深い学び」についての配慮につきまして、開隆堂では、各題材について学習の目標やポイント、学習課題を設定し見通しを持たせることや、他の題材や他の教科との関連付け、学習の広がりや学びの深まりを可能にしております。光村図書では、各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、生徒が主体的に鑑賞し、且つ対話が生まれるような問いがございます。生徒が主体的に表現活動を行えるよう制作過程や、材料や用具に関わる内容を詳しく示しております。日本文教出版では、「造形的な視点」「学びの目標」が示され、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されております。また、生徒が考えを伝え合い、友達と相談しながら活動を行う様子を紹介し、対話を通して学びを深めることができる工夫がなされております。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。
加賀監事。

(加賀監事)

美術科においては、器具や刃物類を使うことがあります。事故防止の観点から、そうした物の使い方・指導・保管・活動場所における安全指導などの徹底が大切だと考えますが、

この点についてどのような工夫がなられているかお教え願います。

(服部委員長)

開隆堂では、注意のマーク「！」が示されており、映像メディアでの留意事項や、危険な道具の扱いについて、絵や写真などで分かりやすく記載されております。光村図書では、注意のマーク「！」があり、衣服についたときにはすぐに洗うことや、著作権があること、機械の取り扱い等、詳しく注意喚起をしています。日本文教出版では、実際の写真を使用し見やすく、また「！注意しよう」というマークと色で、分かりやすく安全面に配慮がなされてございます。以上です。

(程野会長)

その他に質疑ございますか。なければ以上で第6小委員会の美術の報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第7小委員会の保健体育について、ご報告をいただきます。準備ができましたら、自己紹介をお願いいたします。

(橋本第7小委員会委員長)

みなさん、こんにちは。第7小委員会の委員長を務めさせていただきました、札内中学校の橋本靖宏と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(廣瀬第7小委員会副委員長)

こんにちは。同じく副委員長を務めさせていただきました、音更町立音更中学校の廣瀬と申します。よろしくお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第7小委員会の保健体育について、ご報告をよろしくお願いいたします。

(橋本委員長)

それでは報告させていただきます。様式の2を中心にご報告をさせていただきたいと思っております。尚、所々、教科書のページをご覧になっていただきたい部分がございますので、教科書会社をお伝えしますので、そのページをお開きいただくとありがたいと思っております。

調査研究の経過、そして調査研究の方法につきましては、3回の調査委員会で報告・調査のほうをさせていただきました。また、方法につきましては、ア・イ・ウの調査研究の観点に基づき、調査研究をさせていただきました。

それでは、見本本の総合所見につきまして、各者ごとに、その概要をご説明申し上げます。尚、ご説明申し上げる観点につきましては、「取扱内容」につきましては「主体的・対話的

で深い学び」に関わること、「内容の構成・排列・分量」につきましては、各者の「内容の分量の比較」について、「使用上の配慮」につきましては各者の「学習意欲を高める工夫」について、「その他」については「北海道とがんに関連する各社のページ数との比較」について、この4点に絞ってご説明申し上げます。まず、東京書籍では、「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習」への対応について、保健分野についてですが、P132の「健康と環境」の学習において、学習課題を設定して、見通しを持たせるとともに、資料を基に熱中症の予防など健康面で考えられる問題について話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。次に体育分野です。P112の「運動やスポーツの効果と安全」の学習において、学習課題を設定して、見通しを持たせるとともに、資料を基に運動やスポーツの社会性を考え、心身や社会性の発達への効果を話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り上げています。「内容・分量」につきましては、総ページ数が191ページになっており、前回教科書よりも約10%増えています。「使用上の配慮」については、最初の「口絵1」に羽生結弦選手の写真が掲載されております。「オリンピック・パラリンピック」や「共生」などを切り口とした口絵を掲載し、各章末に章の学習内容に関連した資料を掲載してあるなど生徒の学習意欲を高める工夫がされています。「その他」としましては北海道に関連するページが4ページ、それから、がんに関連するページが16ページありました。大日本図書では、「主体的・対話的で深い学び」についての取り上げ方につきましては、保健分野P74「健康な生活と疾病の予防」の学習で、学習課題を設定して、見通しを持たせるとともに、資料を基にがんにかかりにくくするための方法を話し合い、身近な大人に向けてがんに対する行動のアドバイスを発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。体育分野につきましては、P6「運動やスポーツの多様性」の学習において、学習課題を設定して、見通しを持たせ、資料を基にその必要性について話し合い、自分にとっての必要性や楽しさを考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。「内容・分量」につきましては、教科書総ページ数171ページで、前回教科書よりも約8%増となっています。「使用上の配慮」につきましては、巻頭ページの初めの「口絵3・4」で様々な国際大会で活躍する選手の写真、現代的なテーマの口絵を掲載、また、学習内容に関連した「トピックス」「ミニ知識」を掲載したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされています。「その他」としまして、北海道に関連するページが5ページ、がんに関連するページが19ページ掲載されています。大修館書店では、「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習」につきましては、保健分野P138「感染症の予防」について、「マスクを何のためにつけるのか」という課題を設定し、学習内容の見通しを持たせ、学習のまとめで資料を基に、その対策内容を話し合い、生活の中で気を付けることを考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。体育分野につきましてはP4「運動やスポーツの多様性」の学習において、課題設定、見通しを持たせて、運動やスポーツには多様なかわり方があることを考え、「する・見る・支える・知る」の観点で、生活の中でできることを思考し深めていく活動を取り上げ

ています。「内容・分量」につきましては、総ページ 183 ページで、前回より約 11% 増となっています。「使用上の配慮」につきましては P6 において、單元ごとに「課題をつかむ」という方法を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされているとともに、口絵や事例、コラムなどで興味・関心の高い話題を掲載し、巻頭には教科書の使い方・学び方をスムーズに理解できるような工夫がなされています。「その他」としましては、北海道に関連するページは 7 ページ、がんに関連するページは 25 ページ掲載されています。学研では、「主体的・対話的で深い学び」につきましては、保健分野 P30「健康な生活と疾病の予防」の学習において、資料を基に自分に適した運動内容や運動量を考え、生活の中に運動を取り入れる工夫について考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。体育分野につきましては P21「運動やスポーツの多様性」の学習において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しく続けるポイントについて考え、必要な環境や工夫について発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。「内容・分量」につきましては、総ページ数 200 ページで、4 者の中で一番総ページ数は多くなってございます。前回より約 12% 増となっています。「使用上の配慮等」につきましては P15 において、各章の扉に学習内容と関連がある専門家等のメッセージが掲載されています。また、身のまわりの情報と健康との関連について掲載されているなど、学習意欲を高める工夫がなされています。「その他」としましては、北海道に関連するページが 9 ページ、がんに関連するページが 18 ページ掲載されています。以上、第 7 小委員会の報告に代えさせていただきます。

(程野会長)

それでは、保健体育科について質疑はございますか。

山本委員。

(山本委員)

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持・増進するための資質・能力の育成を図る観点において、子どもたちが学習のポイントを振り返ったり、まとめたりできるように、どのような教科書使用上の配慮がされているか、説明をお願いいたします。

(橋本委員長)

それでは、また 4 冊の教科書のページをちょっとご覧になっていただきながら説明させていただきますので、よろしく願いいたします。東京書籍では、それぞれの章の最後に「学習のまとめ」ということで、知識の習得を確認する「確認の問題」、それから「活用の問題」というのを設け、ポイントを振り返ったり、まとめたりできるように配慮がなされています。また P180 において、見開きのページの中で 1 単位時間の「学習のキーワード」などを示して、それらを全て掲載してあるということで、ここを見ると振り返ることができるとい

うような教科書の配慮がなされています。大日本図書では、P13 をお開きになってください。それぞれの知識の定着を図るために、各小單元においてキーワードで学習内容の振り返りを行えるようになっていきます。ここでいうと「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を振り返ってみよう」というページになっております。次のP14には、各章の最後のところで、重要語句や要点の再確認をして、章の振り返りができるようになっています。大修館書店では、P26・27 ご覧ください。学習を進めるにあたってポイントとなる重要語句をキーワードとしてまとめて、各章の最後に「章のまとめ」のページを設けて、知識・技能の確認や、思考力・判断力・表現力の育成、生活への応用、学習の振り返りができるように配慮がなされています。学研では、P68 をご覧ください。教科書全般で、大事な言葉をキーワードとして太字で示しています。そして「章のまとめ」のところで、学んだ知識の確認をして振り返りができる配慮がなされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

武田委員。

(武田委員)

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成に向けて、体力や技能の程度、そして性別や障がいの有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することが大切かと思いますが、このことについて、どのように配慮されているかお伺いします。

(橋本委員長)

東京書籍では、保健分野 P44 の 2、「性の多様性」において、この多様性に配慮し、異性の尊重の学習の中で性の多様性について触れられています。また体育分野 P174「人々を結びつけるスポーツ」において、ルールや用具の工夫などによって、障がいの有無や人種、そして年齢などの違いを超えて人々を結びつけるスポーツの魅力について取り上げられています。大日本図書では、保健分野 P38「トピックス」で、個性や能力を大切にすることに触れています。また体育分野 P126「人々を結びつけるスポーツ」の「トピックス」の欄に「アダプテッド・スポーツ」を掲載し、年齢や性別、障がいの有無などの違いをこえて、ルールを変更することが配慮されたスポーツについて触れられています。大修館書店では、保健分野 P38「性への関心と行動」において、男女が互いに尊重し、高めあえる対等な人間関係をつくる大切であることが述べられています。また体育分野 P126「オリンピックと女性スポーツ」において欄が設けられています。また P128 では「言葉が分からなくてもスポーツ中継を楽しめる理由」を考える活動で課題を掴む工夫されております。学研では、保健分野 P24 にて、一人一人の体と心が違うことなどを理解することで互いに尊重した関係を

築くことができることが述べられているページがございます。体育分野については、「アダプテッド・スポーツ」に触れたり、年齢や性別を超えて一緒に楽しめるスポーツを考える活動を取り上げたりして、このような配慮がなされています。以上となります。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

菅原委員。

(菅原委員)

保健体育科の学習について、系統的・発展的に学習をするため、どのように工夫がされているか、お聞きしたいと思います。

(橋本委員長)

東京書籍では、P5「保健編の1章」の「この章で学習すること」という欄において、小・中・高等学校を通じた学習の系統性に配慮しており、小学校と高等学校の関連する学習内容が明記されています。また「巻末資料」において、発展的な内容を取り上げて、他教科を含めた関連する学習内容も示されているページがあるなどの配慮で、系統的・発展的に学習できるように工夫されています。大日本図書では、P15章の扉において、小・中・高連携として、小学校、中学校、高等学校の関連する学習内容を明確に明記して学習に入っていけるようになっています。また、教科内や他教科と関連する内容については、P18で「リンク」という、クリップのような青い丸になった下のところですが、このページがどこに関わっているのかというようなことを一目でわかるように整理されています。またP96に「地域」という、ピンク色の丸の小さいのがありますが、家庭や地域で健康や安全について考える活動が示されるなど、配慮がなされています。大修館書店では、P4にて学習内容と実生活の関連を示められており、小学校、中学校、高等学校の系統性が明記されています。さらに、口絵⑤にて、この教科書の保健分野と体育分野の両方に関連する内容を扱うなどの工夫がなされています。学研では、P42「保健編の2章」において、小学校で学習したことと、高校で学習することが明確に明記されています。またP109に教科書の中の関連や、あるいは各教科との関連がページの随所に示されております。また、学研の特徴ですが、P190・191「キーワードで見る保健体育の学習内容」にて、ここで体育編・保健編・体育実技・各教科の関連が一覧で示されており、系統的・発展的に学習をする工夫がなされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

福地監事。

(福地監事)

保健分野の学習として、傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することが求められておりますけれども、そのことについて、どのように取り上げられているのか、お伺いをいたします。

(橋本委員長)

東京書籍では、P62「傷害の発生要因」において、ボールが顔に当たったイラストを掲載し、傷害や事故などの事例から課題解決に向けて取り組むことができるように工夫されています。またP69「活用する」に子供の笑顔のイラストがありますが、このような欄で危険予測に取り組み、またP88「地域の安全マップ作製」や災害に備えて地域のきずなを学習できるように設定されています。大日本図書では、P93「交通事故の要因と傷害の防止」において、自転車事故を回避するための方法、それからP97「犯罪被害を防止」するための方法などを話し合う活動ができるように設定されています。またP93に「活用して深めよう」という欄があり、学校や地域でできる取り組みや対策を考えられるように発展的に取り組むことができるように工夫がなされています。大修館書店では、P99「話しあおう」の欄や、P103「生かそう」にて、事故や犯罪の被害などを回避するための危険予測トレーニングをする活動に取り組むことができるように構成が工夫されています。それからP116において、災害から命を守る行動について交流できるように発展的に取り上げてあります。学研では、P108「課題をつかむ」という欄、それからP109「考える・調べる」において、事例から危険が予測できることを考えたり、意見を出し合ったりできるように設定されています。またP115「まとめる・深める」において、危険を回避したりする適切な方法をグループの中で話し合っただけで判断できるように工夫がなされています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑ございますか。なければ以上で第7小委員会の保健体育についての報告を終了させていただきます。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第8小委員会の技術家庭科について、ご報告をいただきます。準備できましたら、自己紹介をお願いいたします。

(長江第8小委員会委員長)

第8小委員会、技術家庭科の委員長を拝命しております、大樹中学校の長江でございます。よろしく願いいたします。

(戸川第8小委員会副委員長)

同じく副委員長の音更町立緑南中学校の戸川と申します。よろしく願いいたします。

(程野会長)

それでは、第8小委員会の技術家庭科について、ご報告をよろしく申し上げます。

(長江委員長)

それでは、私のほうから報告をさせていただきます。令和3年度より使用する中学校用教科用図書、技術家庭科の教科書見本本の調査・研究結果について申し上げます。調査・研究の経過といたしましては、3回の調査委員会を開きました。また、調査・研究の方法といたしましては、「取扱内容」「内容の構成・排列・分量等」、また「使用上の配慮等」について、教科書編修趣意書及び、北海道教育委員会が作成した採択参考資料を参考として進めました。次に見本本の総合所見をこれから申し上げます。最初に技術分野について所見を述べさせていただきます。東京書籍では、技術分野の目標を達成できるよう、「A材料と加工の技術」において、身近な製品に関する技術の工夫について考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活上の不便さなどの問題を解決する製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動がとりあげられています。「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からより良い栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。教育図書では、技術分野の目標を達成できるよう、「A材料と加工の技術」において、普段使っている製品の技術の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、材料の特性を踏まえ、目的に合わせた加工法を用いた製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動がとりあげられています。「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、写真などを活用して育成記録をまとめたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。開隆堂では、技術分野の目標を達成できるよう、「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の工夫を調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、利便性や機能性を追求した製作品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動がとりあげられています。「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をより良くする方法を考え・実践したり、自分の考えや根拠や理由を明確にして照明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。つづいて、家庭分野の3者を紹介いたします。東京書籍では、家庭分野の目標を達成できるよう、「B衣食住の生活」において、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスの良い献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「エプロン」や「ペットボトルカバー」などを作成する活動が取り上げられています。「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」につ

いては、「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会に与える影響をまとめるなどの活動が取り上げられています。教育図書では、家庭分野の目標を達成できるよう、「B衣食住の生活」において、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「布を用いる製作」について考え工夫する活動が取り上げられています。「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、「私たちの消費生活」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、普段の生活において特に重要だと思ふ目標を考え、グループで話し合うなどの活動が取り上げられています。開隆堂では、家庭分野の目標を達成できるよう、「B衣食住の生活」において、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう栄養のバランスのとれた1日分の献立を考える活動や、資源や環境に配慮した「リバーシブルバック」や「クッションカバー」などを製作する活動が取り上げられています。「主体的・対話的で深い学びへの対応」については、「持続可能な社会」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分たちがどのような取り組みができるか話し合うなどの活動が取り上げられています。以上であります。

(程野会長)

ありがとうございました。それでは、技術家庭について質疑はございますか。

有田委員。

(有田委員)

生徒たちが情報の技術と関わり、主体的に理解し、その技能を身に付けようとする態度の育成を図ることが大切であると思いますが、このことについて、どのように配慮されているかお伺いします。

(長江委員長)

東京書籍では、普段利用している情報について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報機器の利用の便利な点と注意すべき点について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動が取り上げられています。教育図書では、情報の技術がどのように使われているのか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の果たす役割についてまとめることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動が取り上げられています。最後ですが、開隆堂では、生活の中で情報に関する技術がどのように利用されているか考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、今後の生活に求められる情報の技術について話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動が取り上げられています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

菅野副会長。

(菅野副会長)

主体的・対話的で深い学びの実現のために、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通して行うことが求められていると思いますが、技術科の分野においては、このことについて、どのように工夫されているか、お伺いしたいと思います。

(長江委員長)

東京書籍では、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生産者の立場からよりよい栽培方法を考えたり、栽培の成果・課題を基に改善を図ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。教育図書では、「生物育成の計画を立てよう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、写真などを活用して育成記録をまとめたり、育成結果や工夫した点を発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。開隆堂では、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生活をよりよくする方法を考え実践したり、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

菅原委員。

(菅原委員)

家庭科についてお聞き申します。家庭や地域との連携を図り、人と関わる活動を充実することによって、生徒が家庭生活や地域を支える一員であることを自覚することが求められていると思いますが、このことについて、どのように配慮されているかお聞きをします。

(戸川副委員長)

家庭分野についてですが、内容で「家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、三者ともに、地域との協働をテーマとして地域の人の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がなされています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

堀江委員。

(堀江委員)

家庭科についてお聞きします。実習・実験の指導における安全と衛生に関する配慮が求められていますが、このことについて、どのように工夫されているのかお伺いします。

(戸川副委員長)

東京書籍と教育図書では、教科書冒頭のガイダンスの部分において、安全に配慮するための内容が記載されるとともに、随時、安全・衛生マークを表記し、注意喚起を促しています。開隆堂においては、随時、安全・衛生マークを表記しています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。なければ以上で第8小委員会の技術家庭についての報告を終了いたします。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第9小委員会の外国語について、ご報告をいただきます。準備できましたら、自己紹介をお願いいたします。

(山本第9小委員会委員長)

音更町立下音更中学校の山本と申します。よろしく願いいたします。

(小野第9小委員会副委員長)

幕別町立札内東中学校の小野稔之と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

(程野会長)

それでは、第9小委員会の外国語について、ご報告をしていただきます。よろしく願いします。

(山本委員長)

それでは、第9小委員会の報告をさせていただきます。令和3年度から使用する中学校用教科用図書につきまして、英語教科書見本本の調査・研究を行いましたので、ご報告させていただきます。調査・研究の経過につきましては3回の調査委員会を開きました。調査の観点・手順と作成したものの協議、趣旨に基づいて協議、そして報告書の協議をしました。研究の方法については、見本本については教科書編修趣意書及び、北海道教育委員会が作成する採択参考資料を参考として行いました。「取扱内容」「内容の構成・排列・分量等」「使用

上の配慮等」の三点についての報告になります。見本本の総合所見は、学びの質の観点から「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けてどのような学習活動がなされているか、「使用上の配慮等」の2つの観点で報告させていただきます。東京書籍では、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向け、次のような学習活動が取り上げられています。1年生の教科書をご覧ください。P96「Stare Activity 2」において、好きな有名人について尋ね合ったり、有名人を紹介する文章を集めてクラス新聞を作成したりする活動が掲載されています。2年生P48「Stare Activity 1」において、自分の好きなことや向いている仕事について伝え合ったりする活動が掲載されています。3年生P84「Stare Activity 2」において、紹介したい日本文化について書いたり、文章を読んでコメントをし合ったりする活動が掲載されています。「使用上の配慮等」については、英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げています。3年生P6「学び方コーナー」で、「語い・表現の増やし方」など、学び方について掲載されています。また「key Sentence・Today's Point 一覧」を全学年で設けています。巻末の「学習をふり返ろう —CAN-DO リスト—」で「できるようになったこと」がそれぞれに掲載されていて、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされています。開隆堂では、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、1年生の代表的なものはP125に課題は与えられたものではなく自分が選ぶ形で、選んだものに対してスピーチ原稿を書いたり、結果をグラフにまとめて発表したりする活動があります。2年生の代表的なものはP40「Our Project 4」で、スピーチをしたり、そのスピーチに対する感想を述べ合ったりする活動が掲載されています。3年生P40「Our Project 7」で、スピーチのメモについてアドバイスをし合ったり、スピーチについて質問をし合う活動が掲載されています。「使用上の配慮等」については、英語の学習方法を紹介する3年生P4「この教科書で学ばみなさんへ」で、排列などが書かれていて、学び方が掲載されています。またP6「辞書を使いこなそう」で、自ら分からない単語を調べるといった辞書の使い方が紹介されています。3年生巻末P148「英語で『できるようになったこと』リスト」で、学ぶことで何ができるようになったかが載っており、主体的に学習に取り組む工夫がされています。三省堂では、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、1年生の代表的なものはP110「Project 2」の「英語のタウンガイドを作ろう」で、おすすめの場所とその理由を整理したり、分担して原稿を作成したりする活動が掲載されています。2年生P88「Project 2」の「修学旅行のプランを提案しよう」では、内容を考えたりする活動が掲載されています。3年生P84「Project 2」の「国際交流イベントに出展しよう」では、地域紹介の発表原稿を書いたり、発表を聞く審査員になったりする活動で、主体的な学びの実現を目指して掲載されています。「使用上の配慮等」については、1年生P2で学習方法を紹介しています。またP68に「辞書の使い方」が掲載されています。また巻末、裏表紙にある「What Can I Do」で、自分たちができるようになったことを振り返る内容が掲載されています。教育出版では、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、1年生のP120「Project 2」で、アンケート調査を行ったり、結果をグラフにまとめて発表したりする活動になっています。2年生P40「Project 1」

の「あなたの夢を語ろう」では、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりする活動が載っています。3年生 P78「Project 2」の「英語で卒業スピーチをしよう」では、スピーチ原稿を書いたり、スピーチを聞いて感想を言ったりする活動が掲載されています。「使用上の配慮等」については、3年生 P68 で、英語力の高め方のアドバイスなどが掲載されています。また、「辞書についていっしょに学ぼう」を全学年で設けています。また、巻末「Can-Do 自己チェックリスト」で、学んだことによってどういうことができるようになったか系統的に掲載されています。光村図書では、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、1年生の顕著なもの P132「学校行事の紹介ページを作ろう」で、ウェブサイト学校行事を英語で説明することが取り上げられています。2年生 P48「You Can Do It! 1」の「わが町観光プランをおすすめしよう」では、条件に合った観光プランを考えたり、観光プランを発表したりする活動が掲載されています。3年生 P86「You Can Do It! 2」の「学校に必要なものを考えて意見を伝えよう」では、学校に必要なものについての意見を讀んだり、自分の考えを伝え合ったりする活動が掲載されています。「使用上の配慮等」については、3年生 P6「英語の学び方ガイド」で、英語の学習の方法が紹介されています。1年生 P134「辞書を使おう」では、辞書の使い方を紹介しています。また巻末の P174「CAN-DO List」で、学習を振り返りできるような工夫がなされています。啓林館では、「主体的・対話的で深い学びの実現」について、1年生の P91「Project 2」の「友だちにインタビューしよう」で、友だちや先生の紹介をしたり、紹介文を友だちと交換し感想を伝え合う活動が掲載されています。2年生 P88「Project 2」の「あこがれの職業を発表しよう」では、あこがれの職業についてスピーチしたり、スピーチを聞いて質問する活動が掲載されています。3年生 P90「Project 2」の「日本の伝統行事を紹介しよう」では、日本の伝統行事の紹介文を書いたり、原稿を交換して読み合っただけでなく、アドバイスをし合う活動が掲載されています。「使用上の配慮等」については、1年生 P6「Classroom English」では、授業で使う表現がまとめて書かれてあります。先生が使うもの、生徒が使うもの、という形で掲載されています。3年生 P6「こんなときどう言うの？」では、驚いたり、共感したり、褒めたりなど、言葉・会話が繋げられるような工夫の表現が掲載されています。3年生 P30「文法のまとめ」では、それぞれの学習を「Target のまとめ」として載っています。巻末 P142「Can-Do リスト」では、できるようになったことが確認できるようになっています。6者の報告については、以上のようになっております。

(程野会長)

外国語について質疑に入ります。質疑はございますか。

高橋委員。

(高橋委員)

小学校段階で、3・4年生に「外国語活動」が、5・6年生で教科としての外国語の「英

語」が導入されました。これを踏まえて、中学英語との学習接続について、どのように配慮されているか教えてください。

(山本委員長)

具体的には、小学校で行われてきた音声中心のコミュニケーション活動を、第1学年の巻頭で振り返ることができるように、6者全てで工夫がされています。第1学年の冒頭では、小学校との接続を図るページが位置付けられています。また、第2・3学年の冒頭では、前学年との接続を図るページが位置付けられていて、全6者で配慮がなされています。

(程野会長)

内容的にまとまりのある文章を書く力を育成するために、どのような工夫がなされているか伺います。

(山本委員長)

まとまりのある文章を書くというのは、学習指導要領にも書かれていますが、全者とも日記や思い出をまとめるなど、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く活動を設定しております。例を挙げますと、三省堂では「思い出の絵日記を書こう」、啓林館では「中学校生活の思い出を書こう」などが掲載されています。以上です。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

山本委員。

(山本委員)

外国語においては、言語活動を通して表現された情報や考え方を理解したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育てるという教育目標を踏まえて、中学校3年間を通じた系統的・発展的な学習について、どのような工夫がされているか伺わせてください。

(山本委員長)

中学校3年間を通じた系統的・発展的な学習について、全6者とも第1学年では、小学校において学習した活動を踏まえて、人物紹介スピーチ・タウンガイドを作成したりする活動が掲載されています。第2・3学年では、前学年において学習の活動を踏まえて、グループでスピーチ・ディベートをしたりするなど、系統的・発展的な指導ができるような工夫がされています。以上です。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

佐々木委員。

(佐々木委員)

北海道とのかかわりのある内容については、どのように取り上げられているかお伺いいたします。

(山本委員長)

北海道とのかかわりのある内容について、東京書籍は2箇所、開隆堂は3箇所、三省堂は1箇所、教育出版は21箇所、光村図書は3箇所、啓林館は5箇所、北海道にかかわりのある写真、かかわりのある人物が掲載されています。例を挙げますと、教育出版では1年生P44「高梨沙羅の写真」、P101「ジュエリーアイスの写真」「旭山動物園の写真」などが掲載されています。以上です。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。なければ以上で第9小委員会の外国語についての報告を終了いたします。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第3小委員会の数学について、ご報告をいただきます。準備できましたら、自己紹介をお願いいたします。

(野村第3小委員会委員長)

第3小委員会の委員長を務めさせていただきました、緑南中学校長の野村です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(阿部第3小委員会副委員長)

同じく副委員長を務めさせていただきました、芽室町立芽室中学校の教頭の阿部と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第3小委員会の数学について、ご報告をよろしくお願いいたします。

(野村委員長)

それでは、第3小委員会、数学科の調査結果について報告をさせていただきます。調査・研究の報告につきましては、これまで3回調査を行ってきております。研究の方法ですが、教科書趣意書、道教委が作成している採択資料を参考にしながら「取扱内容」「内容の構成・

「数と式」「図形」「関数」「主体的・対話的で深い学び」の四点を取り上げて調査を行っております。「内容の構成・排列」では特色のある二学年を取り上げ、「分量等」では前回の改定時からのページ数の増減を中心に調査しました。「使用上の配慮等」では資料を基に各者、三点ほど取り上げています。「その他」では「北海道の素材」「デジタル教科書」「発展的な学習内容」について調査をしています。詳しくは、別紙様式1にそれぞれのもので、そちらもご覧いただければと思います。つづいて、見本本の総合所見をご覧ください。「主体的・対話的で深い学び」、「使用上の配慮等」の部分で、比較しやすいように総合所見をまとめてまいりましたので、それを基に説明いたします。東京書籍では、1学年 P81・82「文字式の利用」の学習で、本棚を作るために必要な棒の本数について考え、図や式の活用について話し合い、考えを広げていく学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では P154・155 下の「Q 考えてみよう」で、生徒の疑問を引き出して学習への動機づけをしています。また P61「2章の扉」から P62「2章1節の扉」へ、P73「2章2節の扉」から P81「2章3節の扉」へというように、節ごとにストーリーが繋がる形で、主体的に学習できるような工夫がされています。大日本図書では、2学年 P114「平行と合同」の星形の図形の角の和を求める課題で、多角形の性質を利用する考え方について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では P22「考えよう」で、生徒自らが問題や疑問を見出すことができるようになっていたり、巻末 P206 以降にある「MATHFUL」で、数学と社会のつながりが実感できるような、生徒の学習意欲を高められる工夫がされています。学校図書では、「主体的・対話的で深い学び」について、2年生 P188・189「確率」の学習でクジ引きの引く順番と当たりやすさについて、様々な条件を考えてそれについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では、P38の章の最後に「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」が記入できたり、本文中の「おしえて!」という部分で、学習の中で感じる疑問について問いかけ、同じく本文中の「確かめよう」にそれに対する答えが載っているというように、生徒の学習意欲を高める工夫がされています。教育出版では、「主体的・対話的で深い学び」について、2年生 P95・96「1次関数の活用」の学習で、印刷枚数と印刷料金の関係について、1次関数のグラフについて話し合うことを通して、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では P50「もどって確認」で、既習事項が定着しているかを確認したり、P13「章の扉」のロケットが飛んでいく写真のように、社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を掲載し、主体的に学習に取り組めるような工夫がされています。啓林館では、「主体的・対話的で深い学び」について、3年生 P188「三平方の定理の利用」で、富士山の頂上から見渡せる範囲について考え、範囲を求めるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では P10・11「学習の扉」、P79「利用の節の扉」で、身の回りの題材を取り上げており、裏表紙から開くと縦開きの構成で、課

題をわかりやすく伝えるような工夫がされています。数研出版では、「主体的・対話的で深い学び」について、1年生P80「文字を使った式」で、マグネットの個数を求める式について考え、操作したり図を使ったりして解き方について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では、分冊のP4～7において本冊の「マグネットの個数を求める式」で学んだ既習事項と関連させて、新たな学習事項として、条件が変わるようなものを掲載し、主体的に学習に取り組めるような工夫がされています。日本文教出版では、「主体的・対話的で深い学び」について、2年生P184「クジの当たりやすさを調べて説明しよう」で、樹形図を使った解き方を基にクジの引く順と当たりやすさについて考え、話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられています。「使用上の配慮等」では、巻頭P6・7「数学的な見方・考え方を身につけよう！」や、巻末P241～248の「対話シート」を基に、対話を促すような工夫がされています。以上、調査結果の報告をさせていただきました。

(程野会長)

これから数学について質疑に入ります。質疑はございますか。

堀江委員。

(堀江委員)

数量やその関係について文字を用いた式に表現したり、式の意味を読み取る力を育成することが求められていますが、このことについては、どのように配慮されているのかお伺いします。

(野村委員長)

「数量」に関しては、1学年の「公式・方程式」で、天秤のつり合いを基に方程式を作って、操作をしながら常に公式が成り立つことを通して、方程式を解いていく学習活動が取り上げられています。また、2学年ではバスケットボールの2点シュート・3点シュートの入った本数を、文字を使って方程式を作成し解いていく学習活動などを通して、式の意味を読み取る力を育成する配慮がされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

高橋委員。

(高橋委員)

三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面を通して活用する力、いわゆる思考力・判断力・表現力等を身に付けることができるよう、どのような工夫がなされている

か教えてください。

(野村委員長)

1学年の「図形の移動」で、合同な図形を敷き詰め描かれた模様から、2つの図形を抜き出して、どのような移動がなされているのかを考える活動が取り上げられています。また、日本の伝統的な模様「麻の葉」という形を取り上げて、合同な図形の動かし方を考える活動を取り上げている教科書が複数ありました。また、2学年の「平行・合同・四角や三角の図形」で、身近にある折りたたみテーブルや、公園の遊具などから平面というものを見出し、それを活用する中で、思考力・判断力・表現力を身に付けていくというような配慮がされています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

水野委員。

(水野委員)

関数関係に着目して、数量の変化や対応の特徴を考察し表現する力の育成については、どのように配慮されているのでしょうか。

(野村委員長)

身近な具体例を基に「関数」の関係があるということを見出していく学習活動が多くありました。例えば、水槽に水を入れる時間と水位を操作しながら関数関係を見出す学習活動が取り上げられています。また、斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と距離についてデータを取ることで比例について学習するというような活動を通して、関数の力を付けていく配慮がされています。

(程野会長)

その他、質疑ございますか。

藤代委員。

(藤代委員)

必要なデータを収集して分析するなどの能力を育成することが求められていると思いますが、このことについて、どのように工夫されているかお教え願います。

(野村委員長)

具体的な操作をしながら、複数のデータを分析し、図に表したりする活動や、図やグラフ

から情報を読み取りデータの分析をする活動など、実際に身の回りにあるデータを収集して分析する力を育成するという配慮がされています。

(程野会長)

その他に質疑ございますか。なければ以上で第3小委員会の数学についての報告を終了いたします。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。続きまして、第10小委員会の道徳について、ご報告をいただきます。準備できましたら、自己紹介をお願いいたします。

(樺原第10小委員会委員長)

第10小委員会、委員長を務めさせていただきました、本別町立勇足中学校の樺原と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(野島第10小委員会副委員長)

副委員長を務めさせていただきました、芽室町立上美生中学校、教頭の野島と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(村尾第10小委員会副委員長)

同じく副委員長を務めさせていただきました、幕別町立札内中学校、主幹教諭の村尾と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(程野会長)

それでは、第10小委員会の道徳について、ご報告をよろしくお願いいたします。

(樺原委員長)

それでは、ご報告をさせていただきます。令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、道徳の教科書見本本の調査・研究結果を次の通り、ご報告申し上げます。まず、調査・研究の経過につきましては、3回の委員会を通じまして、調査・研究の観点や手順を協議し、教科書の調査・研究を行いました。そして、報告書作成の趣旨に基づき、報告書を作成いたしました。つぎに調査・研究の方法ですが、教科書編修趣意書及び、北海道教育委員会が作成する採択参考資料を参考として、調査・研究の観点に基づき行いました。それでは、見本本の総合所見につきましては、各者ごと、その概要をご説明いたします。なお、説明する観点については、「取扱内容」については、「生命の尊厳を扱った学習活動」に関わること、「内容の構成・排列・分量等」については、「問題解決的な学習活動」に関わること、「使用上の配慮等」については、「道徳の学びの振り返り」に関わる事例に絞って説明いたします。東京書籍では、「生命の尊厳」については、命の大切さやありがたさを実感したのはどのよ

うな時かを考える活動や、生命の尊さを心に刻んで生きるためにはどのような気持ちが必要かを考える活動、また、命を大切に生き抜いていくためにはどのようなことが大切かを考える活動が取り上げられています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を排列し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返えよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。教育出版では、「生命の尊厳」については、人は何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動や、命のある限り精いっぱい生きることとは、どのように生きることかを考える活動、また、命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動が配置されています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や、学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。光村図書では、「生命の尊厳」については、身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動や、生きていることが当たり前ではないと感じるのはどのような時かを考える活動、また、自他の命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動が配置されています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題を解決するためにどのようにすれば良いかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、教材ごとに記入する「学びを記録」や、1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。日本文教出版では、「生命の尊厳」については、人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動、自分の周りにある支え合う命には、どのようなものがあるかを考える活動、また、命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動が配置されています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題の解決に向けた話し合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてい

ます。学研では、「生命の尊厳」については、命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動、生命の誕生に関わる話を聞いたり、写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるかを考える活動、自分にとって命を大切にすること、どのようなことなのかを考える活動が配置されています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題の解決の視点を示す「みつけよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、自分を見つめる「マイプロフィール」や、心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。廣済堂あかつきでは、「生命の尊厳」については、この世に生まれしてきたことや、いま生きていることについて、どのように感じているかを考える活動、命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で生命の尊厳を守るためにはどのようなことが大切かを考える活動、また、人の生死に対して多様な考え方があの中で、生命の尊厳を守るためにはどのようなことが大切かを考える活動が配置されています。「問題解決的な学習」については、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、より良く生きていくための資質・能力が養われるように工夫されています。「使用上の配慮等」については、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。以上です。

(程野会長)

それでは質疑に入ります。質疑はございますか。

加賀監事

(加賀監事)

現在、子どもたちにスマートフォンやSNSが急速に普及をして、その利用を巡るトラブルなどが急増していますが、情報モラル教育についてはどのように取り扱われているか教えてください。

(椿原委員長)

情報モラル教育については、北海道の採択資料にも一つの項目として挙げられており、情報化への対応については、各社とも情報化に関わる取り組みについて、SNSやインターネットをどのように取り扱うかということをして全ての学年で取り扱っています。特に、調査・研究の中で目立ったものとしては、例えば、生活習慣に絡めて取り上げている教材、それから、言葉のやり取りとスマホの画面でのやり取りの中で意図が伝わるか伝わらないかというこ

とを取り上げる教材、それから、情報の発信者又は受け手としてのあり方について問う教材などが取り上げられており、6者ともに情報化に関わるSNS・インターネット・スマホの使い方に関わる教材については、多くの分量を割いて取り上げられています。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

藤代委員。

(藤代委員)

道徳においては、生命の尊さや生きることの素晴らしさの自覚を深めていくことが求められていますが、このことについて、どのように配慮されているかお伺いします。

(椿原委員長)

調査・研究を通して「生命の尊重」、生命の尊さ・生きることの素晴らしさについて、各者とも多くのページを割いて取り扱われていることがわかりました。切り口としては、自他の生命を尊ぶ姿勢をどう考えるかという活動が配置されておりました。また、生徒を取り巻く自然環境の保全等を通じながら、生命の尊さ・尊ぶ態度を養うような学習活動の配置、命の尊さについて思いを寄せることができると同時に、自立した1人の人間として他者と共によりよく生きていくために深く考えたり、議論できるような工夫がされていました。また、生命の尊さについて重点的に考えることができるように、複数の教材や読み物・コラムとしてユニット化が図られている会社もありました。

(程野会長)

その他に質疑はございますか。

堀江委員。

(堀江委員)

道徳的な諸価値を理解するために、具体的な道徳的行為の場面を想起させ、追体験させることを通して、道徳的価値の意義などについて考えることが求められておりますが、このことについて、どのように配慮されているかお伺いします。

(椿原委員長)

道徳的な諸価値については、22項目ありますが、それらを机上の授業として理解するのではなく、議論・対話・ロールプレイングなどを基にした追体験の学習活動を行うことで、意義の理解が深まると考え、各者ともに「考えよう」「深めよう」「クローズアップ」などで、殊更に道徳的価値を深める題材が配置されており、体験的な学習を促す問いが設定されて

いる題材を配置した教科書、それから、動作化・役割演技といった体験的な学習を通して、道徳的な価値の理解に主体的に関わることができるような体験的な学習教材が配置されている教科書、世界の様々なマナーやエチケットについて、実際に類似の場面を演じることを取り入れている教科書などがありました。

(程野会長)

ありがとうございます。その他に質疑はございますか。なければ、以上で第10小委員会の『道徳』の報告を終了します。正副委員長におかれましては報告ありがとうございました。

以上で、調査委員会からの、結果報告及び質疑は、全て終了といたします。報告第3号 令和3年度から使用する中学校用教科用図書及び学校教育法附則9条に規定する教科用図書の調査研究結果の報告については、調査委員会の委員長の報告のとおりといたします。

次に、その他といたしまして、(1)教科書展示会における意見についてを、事務局から説明いたします。

(事務局：橋本学校教育係長)

教科書展示会における意見につきまして、ご説明いたします。

資料1の令和2年度 第12地区教科書採択地区の教科書展示会での意見件数及び一覧をご覧ください。表紙は、各町村で実施された教科書展示会での意見数を記載しておりますが、合計で122件のご意見をいただいております。次ページ以降は、各町村での意見を記載しておりますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。以上で説明を終わります。

(程野会長)

この件については、よろしいですか。

(委員一同)

はい。

(程野会長)

委員の皆さんから、他に何かございませんか。

(委員一同)

なし。

(程野会長)

十勝教育局から、他に何かございませんか。

(オブザーバー：十勝教育局職員)

なし。

(程野会長)

それでは、本日の日程はすべて終了しました。次回、第5回協議会は芽室町中央公民館の2階講堂で午前10時から開催いたします。資料等を、忘れずにご持参ください。第5回の協議会は冒頭でも申し上げましたが、皆さんからご意見をいただきながら、各種目ごとに2者に絞るという作業となります。

本日は長時間にわたりましてご審議をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第4回第12地区教科書採択教育委員会協議会を終了いたします。お疲れ様でした。